

京古本や往来

京都で見つかった

昌益の本

奈良本辰也

最近のことであるが、安藤昌益の刊本『自然真営道』が北野神社の蔵書のなかから、また、『統道真伝』の「札仏失之卷」が竜谷大学の図書館から発見されたというニュースが新聞に載った。

まさに驚くべきニュースである。刊本の『自然真営道』は、宝暦二年に京都の出版屋から出版されたもので、刊本だからまだまだ幾らでもあると思はれていたものだが、それが只の一冊しか見当らなかった。

戦前、三枝博吾さんが『日本哲学思想全集』(平凡社)の一冊に収めて世に贈られたものだ。安藤昌益という、ノーマン氏の『忘れられた思想家』(岩波新書)で委しく紹介された人だが、わが国の思想史を調べる上では最も大切な一

人である。

曾て、『東洋思潮』(岩波書店)で狩野亨吉氏がこれを紹介する文を書いて居られたが、あの狩野さんでさえ始めはこの人物は気狂いではないかと思っただけほど過激な思想をぶっつけた人物だった。

狩野さんが、その『自然真営道』の稿本百冊を手に入れられたのである。刊本の本は富士川遊氏であったと思うが、この稿本の発見は、わが国の近世思想史を改めて考え直さなければならぬほどの衝撃を与えた。

しかし、その稿本は関東大震災のとき、貸出中の一部を除いて、あとは全部焼失したものだ。残念と言え、このくらい残念なことはない。せめても、あの貸出中の一部が残っただけでも幸運で

季刊
第20号記念号
京都古書研究会
発行
〒604 京都市中角区上協内2
京都府古書籍商業組合1300
振替 京都 22500 料 5
年間購読料 (送料込) 150
頒価 1

あると思わざるを得ない。私は、戦后すぐ京都の北白川にあって、独得な編集方針を以て出版活動をつづけていた秋田屋の『知慧』という雑誌に、『日本社会主義の一流』なる小論を書いて、昌益を世に紹介したことがある。

ノーマン氏の『忘れられた思想家』が世に問はれる以前のことだった。私は、その小論を書くのに『統道真伝』五巻を利用したのである。この『統道真伝』五巻は、刊本ではない。やはり、狩野亨吉氏が見つけられたものだった。

どうして私が、その『統道真伝』を読むことが出来たかというところ、その影写本が京都大学の国史研究室の片隅に一般の刊本などと一緒に並べられていたからである。いまはどのようになっているか知らないが、それは余り人目を惹かない場所にあった。

私はその頃、よくあの図書室に入入りしていた。多くの学生は、そこで当面の研究に必要な本を借り出しては、閲覧室の方で懸命に史料カードなどに写し取っていたものである。皆、よく勉強してい

た。

私は、いさ、か懶け者なので、手当り次第にそこにある本を、めくっては見、めくっては見ていたものである。読むのではなく見るのである。そうすると、此の双書には何があり、此本には何が書いてあるかということが、自然に覚えられてくるものだ。

そうして見ている中に、あの影写本に行き当たったのである。パラパラと頁をめくっている中に、その内容の烈しさに気がついた。凡そ聖人と称せられる人々で彼の筆誅をうけない者はない。徹底的に、彼らを憎んでいるのである。

「これは面白い」と思った。そこで、それからの毎日はその閲覧室の方に坐って、只管にそれを読み、またカードに写したものである。そして、余りにも特異な存在なので、これを研究会に発表した。

私がそのように感激しても、昌益をとりあげようという学生は少なく、それは其後のもあの図書室の片隅で眠りかけていたようである。ついでにいうと、あの影写本は昭和七年に出来上ったようだから、私がそれを見出したのは、その三、四年後ということになる。

当時、主任教授であった内田銀蔵先生が狩野さんからお借りして、これを写させたようだ。内田先生の『日本経済史の研究』にも、そ

一頁下段へつづく

古書のご整理は 京都古書研究会加盟店

- 赤尾 照文堂 (中京区河原町西六丁目下ル 電話二一五八八)
- 石川 古本館 (左京区桑田町24の12 電話七一五〇九)
- 井上 書店 (左京区中門前町一〇一 電話八一三三三)
- キョクオ 書店 (中京区河原町三栄上ル 電話三二一七三)
- 其田 中 (中京区寺町通三栄上ル 電話二二一九一)
- 沢田 書店 (上京区烏丸通中川上ル 電話四一〇五九)
- 三密 堂書店 (下京区寺町通佛光寺 電話二五一九六)
- 大出 町と衣笠 善書堂 (中京区寺町通佛光寺上ル 電話二一〇六八)
- 竹岡 書店 (左京区御所町馬場ス薄用 電話七六一一四)
- 谷方 書店 (下京区七条通南河川 電話三六一七六)
- 東山 書店 (北区小山下河原町63 電話九一三〇七)
- 外山 書店 (左京区北白川久保町64の4 電話七一六六七)
- 萩屋 書店 (上京区烏丸通上御所下ル 電話三二一七二)
- 福田 文政 堂 (本京区中御門町56 電話七七八九三)
- 藤井 文政 堂 (下京区寺町通佛光寺上ル 電話三一九三三)
- 藤原 北御所 書房 (上京区今出川寺町書庫 電話二一九九八)
- 文苑 書店 (中京区寺町通佛光寺上ル 電話二四二二八)
- 文藻 堂 (中京区烏丸通九条町九角 電話三二一九九)
- 八木 書店古書部 (中京区大町寺本通 電話八一三三〇)
- 山崎 書店 (伏見区宇治橋南側新町22 電話六四一四七)
- 臨川 書店大阪店 (大東市北山町下白六番地 電話〇六三七四)

おつきあい三十五年

後 藤 農 次

中学一年のとき、父が「千一夜物語」を買ってきてくれた。

後にも先にも本を買ってもらったのはこの時だけだったみたい。

この本、父は子ども向きと思っ
て買ってくれたのだろうが、実は
森田思軒訳、全四巻本の古本で、
中にハダカの女の挿絵が入ってい
た。父はそんなこと知らなかった
と思う。もちろん、こっちもそん
なこと言いやしない。喜んで読ん
だ。

本は読みたいし、金はなし。小
遣いもらうと古本屋に行くのを中
学生の時から覚えた。

昔の新潮社の全集で、椿姫を読
んで、世の中にこんな面白いもの
あるのかと、ほかのを買って読ん
だけど、モンテクリスト伯とクオ
ヴァーデイスのほかはあまり憶え
てない。

戦後、初めて河出からブルーの
カパーの世界文学全集が出たとき
は、たまるのが愉しみで、よく枕
許にならべて寝た。デヴィッド・
コパーフィールドが一番面白かつ
た。そんなことでもそのあと三笠
から出た三巻本のピクウィック

ラブは今でも大事に持っている。
三笠の本は、アントニアードヴ
アースも面白かった。

高校の時、チャタレイ事件があ
った。友達が古本屋で手に入れて
来て、みんな興奮した。去年、高
田馬場と同じ本を見つけた。これ
発禁になった本ですかと聞くと、
そうですという返事だったので買
った。二千円だった。

高橋貞樹の特殊部落一千年史も
その時、安くて手に入れた。この
ごろは神田より高田馬場の方が良
いみたい。

今はもう出なくなった早川の銀
色の背中のSFシリーズを読み出
したのは、百冊ぐらい出てからだ
った。全部揃えてやろうと思っ
たら初めの方はもう絶版だった。古
本屋をまわって大体手に入れて最
後に神田で四冊ほど見つけたあと
一冊になった。これが仲々ない。

結局、錦林の或る資本兼業の古書
店の貸本の棚にあるのを見つけた。
恐る恐る、これ売ってもらえます
かと言ったら百五十円と言われて
買って完結した。

中学生の時からだから、京都の

古本屋さんのおつきあいが三十
五年になった。

学生時代は、何買っても黙って
一割負けてくれ、クラブの遠征費
がないとき、本は後からの持ち込
みで、先に七千円出してもらった
お店が今でも百万辺にある。ご主
人、相変らずお元氣さうだ。た
だし、その時、あとで七千円分の本
を持ちこむのに往生した。昭和三
十二年頃で、まだ大学の月謝が五
百円だった。

寺町から丸太町を東に熊野まで
河原町は三条から四条まで、
今出川を銀閣寺から出町まで、大
体この三本を歩くことが多かった。
昔あったお店が十軒ぐらいなく
なってるみたいなのが淋しい。

この頃は、あまりお店に行か
なくなった。忙がしくなつたは口実
に過ぎない。ここどころ、目の
色かえて探しまくる本がなくな
ったせいかしらと思うと寒くなる。

それでも百万辺の古本市には必
ず行く。行く目録購入の安逸さ
に溺れてはいけなさと必ず思う。
去年から図書館の仕事にかわっ
て、今度は新しい立場から古書店
の方々とおつきあいが復活した。

でも考えてみたら、皆さん、通
いなれてたお店の二世さん方ばか
り、年とつたなと思いたくなるの
はこんな時かいなと思うけど、
そうも感じないのは、しっかり勉
強して、しっかり商売してられる
からかと思う。

二頁下段より
の昌益のことが出ていたので、相
当深い関心を持っておられたので
あろう。

しかし、内田先生はその影写本
の完成を見ずに亡くなられたよう
に思う。私が、その恩恵にあずか
ったのである。「統道真伝」は第一
巻が「紅聖失」、第二巻「人倫卷」、
第三巻「禽獸卷」、第四巻「万国卷」、
第五巻「紅仏失」から成り立っ
ているが、その一巻「紅仏失」だけ
がどうして写し取られたのであろ
う。それが竜谷大学にあったのだ。

きっと、あの仏教に対するきび
しい批判が逆に仏教を本義とする
僧侶達の手で写されることになっ
たのだろう。「統道真伝」の写本は
慶応大学の図書館にもある。

狩野さんと親しかった故渡辺大
私とこの図書館は出版して
まだ日が浅い。京都の伝統ある図
書館、大学図書館と今から競争は
できないけれど、何と言っても図
書館は文化を蓄積するところ。市
財政が傾いている今日、それでも積
んでらっしゃる予算を生かして、

今のうちに基本書を揃えておきた
い。一方、市民図書館としての小
まわりの良さを生かして、大宅文
庫の関西版作っちゃおうか。

それには沢山の方の御協力がい
るし、図書館モニター制度を出発
しようか。

近頃、流行りのデータベースと
図書館は全く無縁みたいけど、十

涛さんが、持ち歩いておられたも
のだ。私の家にもそれを持ってこ
られたことがある。そのとき、値
段のことも言はれたが、あまりに
高価なので私はそれを手もとに置
くことが出来なかった。

それを優れた経済史家だった野
村兼太郎氏が、慶応大学で買取ら
れて、そこに収められたものであ
る。昌益について調べていると、
本の運命というものにもいろいろ
と考えさせられるところがあり、
又、因縁話のようなものもある。

絶対に出てこぬと思つた昌益の
本が、京都から新しく二種類も出
てきたのだ。曾て出た本には、そ
れが絶対にならないと思うことは
間違いないようである。そのような
ことも考えた。

進分類表は時代遅れになつて
知らんとか、キリのない話にな
るけど、この「往来」、初めて見た
とき、やっと京都にもと軽く興奮
したので思い出しながら、五周年
おめでとうございます。

これからもお世話になります。



記念号によせて

読書のすすめ

伊藤祐昭

妻を娶らば 才長けて
 みめ美はしく 情けあり
 友を選ばば 書を読みて
 六分の狭気 四分の熱
 興謝野鉄幹の「人を恋うる歌」の一節、
 鉄幹が知人の三高生のために作ったともいう、私の少年の頃には学生の愛唱歌であった、ともかく、明治、大正の青年はよく談論風発した、その基礎はただ読書するか、人の講演を聞くかであった。今日の様にテレビはおろか「ラジオ」も普及していない時代である。昭和の初期の文庫本の出版はこの意味で大きかった。就中岩波文庫を初め多数の文庫本の出版は如何ほど学生達の読書熱を高めたことであろう、私如きも文庫本によって私なりの読書熱を満たした、倉田百三の「出家」とその弟子に感激し、モーパッサン、ツルゲネフ、チエホフを知ったのもみな文庫本であった。現代の学生諸君は向を讀んでいるか、読書をする余暇がないという声を聞く、成程文化が進む(？)につれて本を読む暇はないかも知れない、しかし、麻雀を囲み、河原町をぶらつく暇があるな

ら、どうか一冊の古典の本でも文学書でも読んでほしい、そうすれば入社試験に頼山陽を「よりさんよう」と書かないですむ、世のお嬢さん方よ、お嫁入りの荷物に世界の名作の一冊でも加え給え、ピカ／＼豪華絢爛の荷物よりもどんなにか役立つか知れない。文庫や全集の本を本屋さんに代っておすめする。これこそ鉄幹の歌う、「才長けて」にかなうものである。

古書カタログの効用

小野二郎

最近大阪の郊外で、通りがかりに見つけた小さな古本屋の店頭で、「円本・全集販売目録」全訂昭和十四年版」という古ぼけた古書カタログを発見した。

発行者は当時東京早稲田にあった大觀堂(この名前の本屋は古書店地図帖でしらべたところでは現在存在しない)。内容は大正末期からその当時まで発行された、円本、全集、叢書、講座(哲学、文学、歴史、社会、経済、趣味、実用など)の膨大な在庫目録で、本文頁数二一〇頁。さらにアイウエオ順の書名索引までついている。

目録は定価、販売価格、送料が明示され、かつ全集については各

分冊の書名まであげてある。私にとって関心のある経済関係についていえば、当時までに発行された全集、叢書類はほとんどもれなく集められていて、単なる販売カタログをこえる文献目録ともいえる内容をもつもので、こんなユニークなカタログにお目にかかったのははじめてであった。

現在の出版事情のもとでは、こんなカタログはもうお目にかかることはできないだろうが、何か私達を驚かせるようなユニークなカタログの出現を期待したい。

怨念返

小川 武

『史料京都の歴史』(京都市編) 第四巻「市街・生業編」

は、「平安京創成期」から約千百年をこえる歴史を、テーマに即して精選された史料で辿るという内容になっている。この中には、京都新聞(昭19・1・31)の一面トップ記事の一部が採録されている。

府軍需生産増強初委員会における京都府知事の挨拶である。
 「今日の決戦段階におきましては、航空機の増産は最喫緊の要事で……由來、京都は繊細優美な染織工芸を中心に栄え……事变以來国家の要請たる軍需生産の拡充には立遅れの観があったのであります……企業整備に伴う工場の転換、大工業の新設も相次で行はるる等

……併し尚所期の目標に至るには隘路の克服も生産の飛躍も畢竟する所、必勝の意気に燃える不屈の精神力こそ成否の鍵であります」
 当時、私は中学生動員で軍需工場に配属され兵器の部品をつくっていたが、「企業整備」という言葉に出会うと記憶の底からよみがえってくることもある。半生を織物会社で働いていた人が、私のいる現場に徴用され、追廻して何とも不様な初老の姿をさらけ出したこと、戦後、確か六〇年安保以後のことだったろうか。ある政党の大演説会で、地元選出の代議士の後を受けて、戦事中、商工大臣として企業整備に手腕をふるった政治家が、真打ちとして登壇したとき、前列に坐っていた年配の人たちが席を蹴立てて出ていったという話を聞いたことである。生業を奪われた人たちの怨念返であったのかも知れない。

古本屋は

文化産業の旗手

庄林二三雄

私と古本の出逢いは映画雑誌からはじまった。私を知っている古本屋さんには私が何も言わないでも私が何を求めているからちゃんとつけてくれる。お目当ての本があるとなぐらに出してくれる。また無くても何かと話しかけてくれる。その会話の中にあたたかい人間同

志の心の交流がある。これが私の古本屋回りの醍醐味なのである。私は本が好きだから新本屋にもよく行く。したがって顔見知りの店員さんも多い。あいさつをかわすことはある。だがそれ以上の話しには発展しない。本の内容について話し合うことなどない。新しい本について店員さんが一々熟知しているはずがないからだ。私も話しこむのん気な店の雰囲気ではない。

それにしても京都の古本屋さんには特に客との心の交流が深い。代が変わって若い人たちが多くなつたが、若い人にもこれが受け継がれているから嬉しい。客と話しこんだりしては商売に支障をきたすのではないかとという向きには私はこう言いたい。古本は文化商品なのだ、心の交流のないような文化商品の販売の方が間違っているのだ……。

古本屋のように長い時代にあたる商品を扱う商売といえる。だから今流行の文化産業の元祖かもしれない。古本屋さんたちはこの意味で京都の文化産業の旗手である。今後益々の研鑽を望みたい。

微力ながら私も心から声援をおしまない。それにしても戦前の映画雑誌は一体どこへ行っちゃったのだろうか。

「京都とマンガ」雑感

ヨシトミ ヤスオ

好きと嫌いは人の常、ボクにも人並以上に好きなものと、嫌いなものがある。嫌いなものといえはそうそうあの「星占い」とかいえやつ、そして「ロック」それに、あの「劇画」かな。学生の中にも嫌なのが出て「せんせ。何月生れ？」などときく。ああ、また星座を、ゴチャゴチャとひねりまわすのかと思ひ、ぞっとする。だいたい生れ月で他人の運命が分つてた

まるものか。同じ生れ月の人間はみんな同じ運命だともいうのか。自主性のないこと、おびたしい。そういう学生の頭の程度をボクは先ず疑つてみることにしている。そして「ロック」。あんな騒音が聞えては思考も何もあつたものではない。だいたいの音楽のことではない。卒劇するような音のことではない。どことどこと転倒してある世の中だから、マンガブームだとか何とかマスコミが騒いで、親たちが騒いで先生たちまで騒ぐ。マンガブームなんてどこにもない。



カバ ヨシトミヤスオ

「愛する本との巡り合い」

木川かえる

岡本一平全集、現代漫画大観、漫画講座を古本屋さんで見つけた時の感激、ほしい、ほしいと思つていた本が、棚に微笑をたたえていた時の感動。そこに古本屋さん

今のは劇画ブームなのだ。本来のマンガなんて相変わらず本屋の片すみで遠慮勝ちに座っている。だいたい、あの劇画ファンと称する連中のかましきさはどうだ。何人か寄れば誰の作品がどうの、こつちがああ、とさもそれが重大な問題であるかのようにアワをとばす本当のマンガ好きは、静かなものだ。ひとりひっそりと好きな作家の世界にひたればいい。好きな作家と対話すればいい。読者に団体で感激してもらおうなどと思つてマンガを画くバカはいないのだ。ひとりひとりの綾考に淡々とユーモアを持って語りかけているのがマンガ作家だ。せめて京都人くらい、せめて京都のマンガ界位は東京で生れた「マンガ」の尻馬に乗らないでいたいものだと思う。京都人は一風変つていららしい。古来、東京、大阪に対して、ひと言あつた民衆である。そんな変わり様なら偏屈といわれようと大いに結構ではないか。己れの基準で周囲を気にせず、好き嫌いの言える土地で京都がありたい。



木川かえる

の意義が、そして僕にとって心の安らぎの場所が。美術の本がある。浮世絵の画集がある。南画の本がある。読みたい本が一ぱいある。あれも読みたい。これも読みたい。古本屋さんはいいなあ。ボクも古本屋さんになりたいと何度思つたことか。でも見聞したところ、並大抵でないことを知った。甘い考えでは、トテモ、トテモ経営はむづかしい。古本屋さんには夢がある。そして郷愁がある。僕も昔、赤本時代、大阪三島書房より、漫画本を出したことがある。自分の描いた本が手もとに一冊もない。

「魚屋の金ちゃん」猿飛佐助何処へ行く」この二冊が無いのである。印刷もよくなかつた時代の子供漫画本。

何処かの古本屋さんの片すみで、陽の目を見ないで、しづかに深く潜航していか。一べん、自分の本にお目にか、りたい。よろしく発掘されん事を、御願申し上げます。これからも、昔の恋人にめぐり会える気持で、古本屋さんにご参することだろう。日日感謝である。

(著者紹介は誌面の都合により8頁に掲載させていただきました)

「京古本や往来」二十号をむかえて

―併せて 古書研代表交替の辞―

キクオ書店 前田 司

愛書家の皆様と私共古書業者との絆として「京古本や往来」の第一号をお届けしたのが、昭和五十三年八月でした。三号雑誌の汚名だけはまぬがれようと、とりあえず四号分の記事を用意しての出発でした。会員一同、毎号青息吐息の発行でしたが、幸いどの号でも気持よく玉稿をお寄せいただいた愛書家の皆様のおかげで応援にめぐまれなんとか二十号まで発行をつづけることが出来ました。ここに御礼申し上げます。

しかし二十号まで発行出来たことは良としても、その質を見れば、誤字、誤植といった初歩的な誤りや、記事の内容、体裁などあまりに未熟で毎号赤面の至りでした。また資金的にも苦しく、執筆いただいた方にもいつものご好意に甘えてばかりいる状態です。二十号といえば、もうそろそろ初歩の段階から卒業せねばなりません。私は創刊号に「まずは季刊から、そして月刊へと往来を高めて」とあいさついたしました。なにはともあれこれからは質の向上に取り組んでゆかねばと考えております。

さて、若い京の古書業者のエネルギー―集團として京都古書研究会

先生の昔の古書店めぐりの思い出を語られたあと、「ところで往時の京都古本屋が持っていたあのわくわくさせるような不思議な雰囲気は今もあるか。あれば重畳だが、無ければ何をさしおいても復興してほしい」と結ばれております。ここに私達古書店のありやうが凝縮されております。古書店や即売会に足を運んでくださり、目録に目を通していただけるのも、この「わくわくさせる」ものがあればこそなのでしょう。この不思議な力を醸し出すため、私達は仕入れに努力し、そのための勉強に励んでいっているのです。そしてそこに築き上げられた成果がお客様と含蓄の多い応対となり、棚にならぶ商品と共にわくわくする店の雰囲気を作り上げられてゆくのです。

ところで私達の五年間の活動からこのわくわくする不思議な古書の魅力がどれほど醸し出せるようになったでしょう。まだまだ真摯な古書への努力をつづけねばなりません。

ともかく誕生から五才まで夢中になって走ってきたこの会も、これからはもう一歩大人に近づくエポックを迎えました。このあたりで機関車を取り替えて、さらに力強く走り出さねばなりません。新しい代表のもとに大きく翔いてゆくことを希って代表交替のあいさつといたします。

京都古書研究会

代表引継ぎに際しまして

大書堂 中村俊 一

逆オйлショックも、OPECの合意により辛じて、回避され、世界的な不況も、これ以上の落こみに歯止めがかかったものと思われませんが、未々に光明を見出すところ迄は来ないようです。古書業会に於ましても、春とは名のみで、不況風の冷たさは、身にこたえる今日この頃です。

しかし世の景気の低迷を、マク口に挿え、景気の回復を、手をこまねいて、ただ座視していたのでは、いかなる展望も開けようがありません。古書研究会と致しましても、この期をチャンスと捕え、基礎知識の蓄積はもとより、京都の古書業界にありがちな、伝統を守るだけといった、保守的な業態から脱皮し、新しい創意と工夫をもって、営業形態そのものを改革していかなければならないと思っております。

エレクトロニクス等、先端技術の目ざましい発達により、印刷技術の発達、出版文化、活字文化や本の文化にも、思いもよらぬ変化をもたらすものと推測されます。又、古典籍のジャンルに於ましても、どんなものが、どのように新しい価値付けがなされるか、未開

発の部分が多数で残されているのではないかと考えられます。このような時期に浅学菲才の私が京都古書研究会の代表を引継ぎましたのは、誠にもって以つかわしくない、ミスキャストと自認致しておりますが、前代表の多忙ぶりを見るにつけ、処辺りで一忙休んでもらって、充電期間に当ててもらおうと、私が引受けました次第であります。幸い前代表の強力なリーダーシップにより、ほぼ土台も固まり、優秀なスタッフも揃ったところで、各種事業の充実を心掛け、激しい世の移り変わりの中で古本屋の未来はどうあるべきか、どのように対処すればよいのか、等、積極的に先取りしていこうと只今研究会員のエネルギーが充満しているこの時に取組んでいかねばならないと身を引いております。

「古本や往来」を御愛読、御支援頂いております皆様のお一層の御支援、御助言賜りますよう、御願い申し上げますとともに、御健康を衷心より御祈り申し上げます。御健康を衷心より御祈り申し上げます。

和歌詠草二点

管 宗次

手許に、古本屋の店頭の本の山から選り出した写本でえたいの知れぬものがある。また、いわゆるコマ以下というのだから、その人物その著述にはことさらに取りあげる程の価値は残念ながら見出せぬのに、なにかしらなつかしいものがある。

詠草二点、としたが、その二点とも京都の和木専門店の雑本端本の山から拾いだしたもので、掘り出しものをあててやろうという欲気も働いての拾いだしものだ。

その二点とも江戸時代末期頃のものが、実のところ、誰の詠草なのか今のところまったく見当がついていない。それでも少しばかりのことはわかって、それなりにおもしろい。

その一点は、記憶違いで「季延」と署名がある二冊の大和綴の詠草を富士谷御杖門人の谷田秋延（昭信）のものと思いきみ買いこんだもので、弘化三年から弘化五年（嘉永元年）までの詠草一冊と師匠に添削を乞うた一冊で、なかなかしつかりした歌が多い。

持ち帰ってから谷田秋延とは別人のものとなって、あきらめ半分ざっと読んでみると、次の詞書と歌にでくわした。

小野故重賢宗匠十三回忌探題

鳴

なき君をとひてやゐなのさ、
原の

原の

「季延」なる人物は、京都の小沢芦庵門の歌人、小野重賢（号は蟻蛄館、有識にも通じ、書を善くした、天保五年没）の弟子であった。もう一冊の詠草添削は小野重賢の添削によるものらしい。

もう一点は、専用の掛紙をつかい、製本され、淡青色の表紙と墨流しの料紙を用いた題簽を張った中本一冊である。題簽には「政舎和歌草稿」とある。この人物、いまだに調べがつかずにいるが、「とら霜月 季鷹大人入門」とあるので、加茂季鷹（上加茂祠官、雲錦亭と号す、狂歌を善くする、門人頗る多い、天保十三年没、九十一歳）の門人であつたらしい。また「二月十五日、千別訪れて」の詞書に……

まれ人のけふきさらぎのななかはとてにほひのいたる宿の花ぞの

といった歌もみえている。ゆつくり調べていけば、そのうち何かわかってくるだろう。

私の見たヨーロッパの美術館と古書店

山崎書店 山崎純夫

私は、美術館を中心にヨーロッパを歩いたのですが、時間の許す限り古書店を見て回りましたのでその辺りの事を書いてみたいと思います。実は、美術館、博物館近くには、必ずと言って良い位、古書店や骨董屋などの数軒は、あるものです。まずは、ロンドン大英博物館、ヨーロッパ随一の宝庫（これは、書き出したらきりがなくとにかく啞然として、館内を歩き回ったという感じ）を出るとすぐ前に、デイロン書房、版画や初版本やら豆本などを置いている、京都で言えば、大書堂さん処を思わせるような感じのするお店がありました。ヨーロッパの豆本の歴史は、古く16世紀頃からのようで、色々

京の人物誌で名高い『平安人物志』などには、できそうもないコマ以下十の歌人たちの詠草だが、こうした寸楮をかりて、当時の文学芸の底辺を支えていた彼らの詠草を紹介するのもあながち無意味とはいえない。

（昭五十八・二一・一六）
日本近世文学会会員
梅花高等学校教諭

二、三尋ねると、大変親切に書物を出してきてくれました。

英国のみにとどまらず、ヨーロッパ名画の一級品の揃っている。ナショナル・ギャラリー（私は、丸まる二日間出かけました）を出て、ポットと五分程歩くと、有名なチャリング・クロス街があります。84番地のマーク社とヘレン、ハンドの書物を通しての交際、あまりにも有名です。

次は、クオリッチ、ここは、一八四九年からの老舗です。京都にも藤井文政堂さん処のように、古くからやっておられる店がありますが、とにかく、アヘン戦争のあった頃です。写真のような看板がかかっておりました。入口の戸は、

変ったものがあります。書物の楽しい一面だと思いました。コペント・ガーデン近くのロータは、特に初版本を扱っているらしく初版本目録を、店内に置いてあります。

広く、ゆったりとした店構えで、立派な木製、鍵付きの本棚に、革装の見事な古書が、ならべられておりました。私が行った時は、店内の6人の内、4人の人が、タイプライターの前で仕事をしており、一風変わった感じを受けましたが

変ったものがあります。書物の楽しい一面だと思いました。コペント・ガーデン近くのロータは、特に初版本を扱っているらしく初版本目録を、店内に置いてあります。

変ったものがあります。書物の楽しい一面だと思いました。コペント・ガーデン近くのロータは、特に初版本を扱っているらしく初版本目録を、店内に置いてあります。



クオーリッチ書店の前で

中からの自動ロック付で、入る時
も、出る時も、中のカウンターの
ボタンを使用するしくみになって
おり、びっくり。

中に入ると、カウンターの女性が、
「何をおがしですか？」とたず
ねてきます。少し見せてください
と言えば、もうこの圧倒された雰
囲気から解放され、自由に見るこ
とができます。目的の本があれば
係の人が、品物のある室まで案内
してくれるか、もしくは、持って
きてもらえるようで、格調は高い
が、親切で感じが良かったことが
印象に残っております。

ベルギーのブリュッセル市とブ
ルージュ市は、生誕一千年の古都
で、中世ネーデルランドの繁栄の
面影をやどす、みごとに建築があ
り、ファン・アイク・ブルユーゲ
ル、ボッッシュそして、ルユーベ
ンと西洋絵画の中心人物が活躍し
た町、偉大な、芸術家の情念が、
町のいたる所にいきすいており、
おのずとノミの市などでも、古美
術品をたくさん売っております。
美術館や博物館で見るのとは、ま
た異なり、名を残さずとも作品が、
長い年月を経て、今、私たちに、
語りかける。これもまた良いもの
でした。

アントワープは、ベルギー一の
商業都市で、非常に、にぎやかな
所です。メインストリートには、
名前は忘れましたが、大きな書店
がありました。1F、2Fが、新刊

書で、3Fに古書という風になっ
ており、若い人の出入りも多く、
わりと自由に立派な本を手取る
ことができました。

オランダノ木靴と風車の国と思
いきや、アンステルダムは、北欧
に近いせいか、けばけばしいボル
ノシヨブが、立ちならび、夢は、
はかなく消え去りました。

偉大な、レンブラントを前にして
ここが目的地なのだ、などと思っ
た位です。

ラマルクの裏通りに四階建ての
非常に大きい古書店がありました。
1F、2Fに、ダンピング本を、3
F、4Fに古書を置いており、ダン
ピング本が非常に安く、大きな
フロアに何百種類も豊富に展示
してあり、良く売れておりました。
展示の仕方、ただ同じ本を積む
のではなく特別な棚を使用した大
変見やすい展示方法でした。

他にアンネ・フランクの家、レン
ブランド・ハウス周辺、などに古
書店がありました。

「花の都、パリ」私には、何のこ
とやら理解できない、物価は高く、
気軽に取つフランス人と日本人観光
客の多い町、大袈裟に言えば、そ
んな所、しかし、ルーブルは、見
るべき物多し、一週間位、毎日出
かける事ができれば、幸せだろう
な。などと贅沢な事を考える位
です。驚くことに、日曜日は、入
場無料。平日でも三百円位で、鼻
がひびく位近づいて見る事がで



ブルュッセルのノミの市

があり、美人が
店番をすと、
古書まで美しく
光るノなどと思
いました。憎屋
号は、覚えて
おりません。
イタリア人は、
非常にゆつたり
した生活をして
おり、あくせ
く生きておる私
には、全く驚
きです。昼は、
店を閉め昼食と
昼寝、優に二
三時間は、昼休

とができなかつたのでガツカリ。
夜行列車でベナレス（ヒンズー教
の聖地）へと向いました。ただ、
ガンガーの朝日と沐浴を見るため
にノところかベナレスには古書店
がありました。人力車が砂煙を立て
て走るチョークの大通りから少
し奥まった所に、モティアル・
バナシダス社のベナレス支店で、
入口に木のカウンターが置いてあ
り、中へ入れないようにしてあり
ました。その日は、停電で、真
暗な書棚を、借りたロソクで見
学。特に古い本はありませんでし
たが、この国では立派な本屋で百
頁位のカタログを作っており、ま
た新刊も扱っている、臨川書店の
蔵書辞典を目にした時、嬉しく誇
らしいような気がしました。

きます。(たぶん係員に注意される
でしょう)館内で自由にカメラを
使用しても良いノこの点が、日本
の美術館と全然ちがいます。
古書店は、ソルボンヌ大学近くサ
ン・ミッシェル大通りとルクセン
ブルグ公園近くのレイネスに何軒
がありました。レイネスのレオン、
ラジエットは、美術書専門店で、
各研究書から皮装い銅版画入りの
豪華本まで扱っており、小さな店
ながら充実した内容でした。

近くのド・ノーベルも美術書を扱
っておりましたが、新刊書が多か
ったように思いました。
ドラクロアの家近く、サン・ジ
エルマン通りに、非常に美しいフ
ランス女性が店番をしている書店

み、ところが、ドゥオモの大聖堂
などレンガを積み重ね、よくこん
な建築を造つたものだ、と信じ難
い気持ちにもさせられます。システ
イナの礼拝堂の壁画に至つては、
ミケランジェロ一人で描いたとの
こと、啞然と天井を見上げ溜息が
出るのみ、イタリア人のパイタリ
テイの根源は、昼寝かな？……
ドゥオモの近くに建築書専門店が
あり、イタリアならではと思ひ、
読めもしないイタリア語の本を手
に取つてみたりもしましたが、読
めない本は、やはり買えない。

帰りに寄つたインドの事も少し
書きたいと思ひます。カルカッタ
の中心地もだいたい歩き回りました
が、たいした古書店は見つけるこ

時間の節約になると思ひます。
それでも、旅は、思いがけない
出会いや発見、失敗は、必ずある
ものです。

著者紹介 一 記念号に よせて一

奈良本辰也

元立命館大学教授

著書「吉田松陰」 岩波書店

「歴史に学ぶ」 潮出版

「狂を生きる」 P H P 研究所

「奈良本辰也選集」 全7巻 思文閣出版

後藤慶次

京都市社会教育総合センター 事務局長

伊藤祐昭

元京都大学附属図書館整理課長

元華頂短期大学図書館長

小野一一郎

京都大学経済学部教授

著書「両大戦間期のアジアと日本」 大月書店

「南北問題入門」 有斐閣

庄林三雄

地域経済研究所所長

立命館大学講師

通産・労働、農林水産等各省庁

はじめ京都府・京都市・滋賀県

の各審議会の委員に就任

著書「日本の文化産業」 有斐閣

「日本の中小企業」 有斐閣

ヨシトミ ヤスオ

マンガ家

京都精華大学芸術学部教授

著書「動物マンガ百科」 駁々堂

特選総合

古書在庫目録

第一号刊行額末

57年4月、研究会総会に於いて 総合目録刊行が決議されました。 爾來、約半年数十回の会議を重ねた未同年12月初旬待望の刊行となりました。

古書目録の氾濫する昨今、特色のあるものにする為、又勉強の意味も含めてジャンル別編集に致しました。

- 「内訳は写真版」200点、
- 書誌辞典六十点、
- 歴史三〇〇点、
- 社会科学二〇〇点、
- 宗教易漢方二五〇点、
- 美術七〇〇点、
- 趣味二〇〇点、



特選 総合古書在庫目録

京都古書研究会

三〇〇点、古典籍二五〇点、自筆もの版画二〇〇点、自然科学三〇〇点、となりましてあります。

編集に際してはそのジャンルに志を持つ者が当りました故。適正な並び方になっているものと自負しております。

残念だった事が一つだけあります。それは徹底的に送付先の研究が出来なかつた事です。手にした目録を見て「さて、どこに送ろうか？」と全員思ったそうです。

今後の大きな勉強課題です。私達のめざますものは勉強と実践です。

それゆえ今後 も試行錯誤を重ねながらも 総合目録の継続刊行を決定致してあります。どうぞ、御期待下さい。最後に

出版案内

岡田章雄著作集 全六巻

四六判・貼函入各巻平均310頁

各巻平均2、900円

南蛮・キリシタン史と言えは単なる純宗教史的なものであったが同教授は日本の社会習俗との関連のなかに捉え、文は至って平明で歴史の論文はともすれば理論に走り、専門研究者はもとより一般読書人にも至って親しみ易く述べられている。

インフォメーション

（即売会）

○近鉄百貨店（七階催物会場） 4月22日（金）〜27日（水）

○京都駅前地下街ポルタ

（ポルタイイベントホール） 6月3日（金）〜8日（水）

日録発行5月下旬

若い女性をターゲットにした。ショッピング街ポルタに古書即売会出現、今までの即売会と一味違ったものになる模様

（展覧会）

○弘法大師と密教美術 5月5日（祝）まで

○南禅寺の名宝 5月5日（祝）まで

両方共京都国立博物館にて開催中！

編集後記

○京古本や往来も数えて本号で20号となりました。これもひとえにご愛読者の皆様のお陰と会員一同感謝致しております。

○本号は記念号と致しましたので多くの先生方にご執筆いただきました。

○時節柄、大変御多忙中の折、ご無理を申し上げまして、ご執筆いただきました先生方には、紙面をかり厚く御礼申し上げます。

○我々業者とお客様との橋渡しとして出来た小冊子、今ひとつお客様よりのご意見等「来」が欲しいものです。お待ち申し上げております。

○病気で第4号より目録を休んでおりました文苑堂東野喜久雄氏本号より復帰、がんばって下さい。

○往來の編集が輪番制になってから物を作り出す楽しさ、苦しき、面倒くさ等が入り乱れ、何か真剣味が欠けるような気がしているのだが……これは私だけの感じかなあ。

○編集スタッフ 青空古本まつりでお馴染みの百万 辺知恩寺近辺の古書店 小林・井上・石川・外山・竹岡。

次号予定

「京古本や往来」第21号は 五十八年七月十五日予定です。

管 宗次

日本近世文学协会会员

梅花高等学校教諭

木川かえる

日本漫画家協会会員

第二回読売国際漫画大賞受賞

本年度優秀賞受賞

現在 吉本興業で活躍。

〒604 京都市中京区寺町通り夷川上ル

文苑堂書店

電話(〇七五)二四一―二三八八
振替 京都 二二一九六

- 1 鉄斎 アノカ巡脚展記念 清光神清澄寺 昭35 五,〇〇〇
- 2 王教額名物瀟湘八景絵の傳來と考察 高本文 好日書院 昭10 五,〇〇〇
- 3 絵巻物残欠の譜 梅津次郎 角川書店 昭45 〇,〇〇〇
- 4 絵画に於ける線の研究 2冊 金原省吾 昭51 九,〇〇〇
- 5 昭代國華 2冊 内田美術 昭10 五,〇〇〇
- 6 江上清風 山元春聲作品集 芸艸堂 昭14 七,〇〇〇
- 7 池大雅 松下英麿 春秋社 昭42 七,〇〇〇
- 8 面聖光悅 平木清光 東京光悅会 昭41 七,〇〇〇
- 9 美術教育について 井島勉 都出版 昭31 三,〇〇〇
- 10 平安朝時代の草假名の研究 春名好重 歴史図書 昭45 七,〇〇〇
- 11 古筆辞典 川谷賢著編 三彩社 昭45 七,〇〇〇
- 12 書道史大観 中谷美術 昭46 五,〇〇〇
- 13 布留散東 鳥宮有琴遺稿 限800 芸艸堂 昭31 三,〇〇〇
- 14 そめもの教室 編輯 友仙社社法と圖案 吉田敬 昭24 三,〇〇〇
- 15 日本古鑑 寒具抄 駒井和愛 岩波書店 昭48 七,〇〇〇
- 16 中国古鏡の研究 新村出 筑摩書房 昭19 五,〇〇〇
- 17 典籍雅考 今井直一 印刷学会 昭24 三,〇〇〇
- 18 書物と世間 桑木厳翼 南北書園 昭21 三,〇〇〇
- 19 新撰洋字年表 大槻如電修 東林院 昭10 〇,〇〇〇
- 20 妙心寺誌 (湿気有) 大日本鶏鳴会 昭16 五,〇〇〇
- 21 神宮大観 神宮講義四回 奉敬篇 四回 大東出版 昭42 七,〇〇〇
- 22 仏教解説大辞典 1、12巻 柳田聖山 筑摩書房 昭44 五,〇〇〇
- 23 達磨の語録 釋宗演 文芸書房 昭42 五,〇〇〇
- 24 達磨の研究 関口真大 岩波書店 昭42 七,〇〇〇
- 25 朝鮮開教五十年誌 大谷派朝鮮教監 昭2 七,〇〇〇
- 26 唐招提寺古経選 箱入一卷 中美工術 昭50 二五,〇〇〇
- 27 唐招提寺古記跋華 箱入一卷 博文堂 昭6 三,〇〇〇
- 28 東邦元師写真傳 三尾呉石 昭15 〇,〇〇〇
- 29 集芳記念帖 内田太郎 元師編纂会 昭13 二五,〇〇〇
- 30 世界之東郷元師 昭15 〇,〇〇〇

〒600 京都市下京区寺町通仏光寺

三密堂書店

電話(〇七五)三五―一九六六三
振替 京都 三四七一

- 1 易学速成講義録六冊揃大島中堂著高島易断 昭3 一五,〇〇〇
- 2 神說現代易占講話前島能吉著 星文館 昭10 七,〇〇〇
- 3 新選易学小窓 松田定象著 神宮館 昭28 二,〇〇〇
- 4 五行易活断 洪江羽化著 三才社 大15 五,〇〇〇
- 5 人生一代の運氣 木村茂一郎著 神宮館 昭12 二,〇〇〇
- 6 千支秘伝 佐藤六龍著 明玄書房 昭47 二,〇〇〇
- 7 四柱推命術五大秘伝集 張耀文 佐藤六龍 著 香草社 昭50 六,〇〇〇
- 8 四柱推命術極秘儀 張耀文 佐藤六龍 著 香草社 昭49 五,〇〇〇
- 9 四柱推命術極秘儀 佐藤六龍 著 香草社 昭49 六,〇〇〇
- 10 四柱推命術極秘儀 佐藤六龍 著 香草社 昭49 六,〇〇〇
- 11 四柱推命活用秘儀 佐藤六龍 著 香草社 昭56 六,〇〇〇
- 12 奇門遁甲活用秘儀 佐藤六龍 著 香草社 昭50 六,〇〇〇
- 13 相法秘觀相読本 若松敬治著 回陽堂 昭9 五,〇〇〇
- 14 観相秘録 小西久遠著 春江堂 昭15 二,〇〇〇
- 15 人相の神秘 小西久遠著 有楽出版 昭26 一,五〇〇
- 16 骨相の神秘 柴原剛治著 実業之日本 昭5 二,〇〇〇
- 17 名相と人生 山口裕康著 日 東学社 昭11 七,〇〇〇
- 18 家相方鑑全書 高木乘著 春江堂 昭6 三,〇〇〇
- 19 家相方位秘伝 松浦勝著 神宮館 昭9 三,〇〇〇
- 20 家相方位建築宝典中邦勝俊著 春江堂 昭5 三,〇〇〇
- 21 家相天子伝 張耀文著 香草社 昭49 四,〇〇〇
- 22 方鑑秘傳集 松浦琴鶴著 文陽堂 昭27 二,〇〇〇
- 23 地相家相店相方鑑松平英明著 星文館 昭11 三,〇〇〇
- 24 姓名の神秘 熊崎健翁著 実業之日本 昭10 二,〇〇〇
- 25 墓相と家運の研究杉本鉄幸著 亀卜教館 昭13 三,〇〇〇
- 26 古伝杉本龜卜秘鈔杉本鉄幸著 亀卜教館 昭3 四,〇〇〇
- 27 大元神諭 五冊揃 大本教学院編 天声社 昭35 八,〇〇〇
- 28 交霊祈禱術極秘啓伝西村天頼著 心友社 大14 四,〇〇〇
- 29 心霊の現象 平井金三著 警醒社 昭42 二,〇〇〇
- 30 心王靈医学簡易法西村大観著 神王教 昭4 一,五〇〇
- 31 靈夢大鑑 柄沢照覚著 神誠館 昭30 三,〇〇〇
- 32 靈響聖典 宇佐美景堂著 大和組 昭34 一,五〇〇
- 33 徳法無病長生活 川合清丸著 大道社 昭34 三,〇〇〇

〒602 京都市上京区今出川通り寺町西入

藤原北御所書房

電話(〇七五)二四一―二五九八

- 1 民衆 創刊号 一夫・啞蟬坊ら 大11 三,〇〇〇
- 2 党報 第一号 政友本党々報刊 大13 二,〇〇〇
- 3 潮流 一卷一号 大13 二,〇〇〇
- 4 急進 周刊「日本」改題12号 汚 二冊 昭3 大13 二,〇〇〇
- 5 進め 6/78(裏一丁欠) 八木渡編刊 昭7 四,〇〇〇
- 6 農民軍 一卷一号 四頁誌 田原保雄刊 昭7 三,〇〇〇
- 7 氾濫 一卷一号 各 昭8 三,〇〇〇
- 8 黒色戦線 2/3・5・7 各 昭9 三,〇〇〇
- 9 幕末明治人物史論 中央史壇12/9 大15 一,〇〇〇
- 10 近世偉人秘話 小野田亮七 昭15 一,〇〇〇
- 11 維新英傑の臍ツ玉 藤本 尚則 昭16 一,〇〇〇
- 12 忠烈遺芳 滲 玉村 晴朗 昭17 一,〇〇〇
- 13 伝記聚芳 滲 高須芳次郎 昭17 二,〇〇〇
- 14 日本近世転換期の偉人 森 鏡三 昭18 一,〇〇〇
- 15 近世人物双談 滲 浦井 靖六 昭18 二,〇〇〇
- 16 現代先覚者伝 佐藤仁之助 昭11 一,〇〇〇
- 17 崎人伝 浦井 靖六 昭11 一,〇〇〇
- 18 偉大なる青年橋本左門 多賀 貞昭 昭8 一,〇〇〇
- 19 晩年の新井白石 望月 茂 昭18 一,〇〇〇
- 20 藤公餘影 古谷 久綱 昭44 二,〇〇〇
- 21 陶庵公 竹越与三郎 昭5 二,〇〇〇
- 22 大養木堂 滲 東京木堂会 昭5 二,〇〇〇
- 23 洪沢栄一伝 幸田 露伴 昭16 二,〇〇〇
- 24 青淵洪沢英一翁写真伝 実業の世界社 昭16 一五,〇〇〇
- 25 村瀬家系図 (京都) 村瀬信太郎 昭16 二五,〇〇〇
- 26 寺村家系譜 (市島家) 助右衛門三回記念 昭26 二八,〇〇〇
- 27 家廟之紙碑 新潟維志会 昭40 四,〇〇〇
- 28 山崎家史料 平野 実 昭41 七,五〇〇
- 29 系譜大塚一井家 湯原 浩三 昭48 三,〇〇〇
- 30 系譜大塚一井家 湯原 浩三 昭48 三,〇〇〇
- 31 系譜大塚一井家 湯原 浩三 昭48 三,〇〇〇
- 32 湯原姓氏考 湯原 浩三 昭48 三,〇〇〇
- 33 平田一族 日本家系協会出版 昭49 三,〇〇〇

〒604 京都市中京区河原町通三条上ル
(朝日会館前)

キクオ書店

電話(〇七五)二三一七六三三四
振替 京都 一七六四〇〇

辞典・語学・各種百科事典特集

- 1 (英) 英泰辞典 SO SETHADUTRA バンコク刊 七、五〇〇
- 2 (英) 泰英辞典 マクファーレン編 八、五〇〇
- 3 (英) 葡英・英葡辞典 リチャードソン編 一九、九〇〇
- 4 (英) スエデン語一英語辞典 ウェンストロム編 二、〇〇〇
- 5 (英) ウェブスター英辞典 新版 一、六五〇
- 6 (英) 小学館版ランダムハウス 英和辞典 一冊 七、五〇〇
- 7 (英) ランダムハウス英辞典 COLLEGE ED. 一、六五〇
- 8 THE AMERICAN COLLEGE DICTIONARY ハンクス編 二、七五〇
- 9 (英) オクスフォード・カラー英辞典 二冊 一、九〇〇
- 10 新英和活用大辞典 勝俣鈴太郎 研究社 昭43 五、〇〇〇
- 11 新英文法辞典 大塚高信編 三省堂 昭41 三、〇〇〇
- 12 英語語法大辞典 大修館 昭47 五、〇〇〇
- 13 エチオピア語・ヘブライ語・シリア語
カルダイ語・サマリア語・アラビア語
- 14 聖書を読むために 新井智 筑摩書房 昭50 一、〇〇〇
- 15 言語学入門 イエルムスレウ 紀伊国屋 昭44 一、〇〇〇
- 16 英語学入門 増田貢 篠崎書林 昭46 一、〇〇〇
- 17 フランス言語地理学 ドーザ 大学書林 昭37 三、五〇〇
- 18 外国語習得のスキル リヴァース 研究社 昭47 一、〇〇〇
- 19 最新ロシア語講座 八杉貞利編 六冊揃 一、五〇〇
- 20 増訂 露和字彙 古川常一郎(増補訂正) 明36 二、〇〇〇
- 21 ロシア語四週間 和久利登一 大学書林 昭44 一、四〇〇
- 22 エスペラント四週間 尾崎義夫 大学書林 昭52 二、〇〇〇
- 23 フィンランド語四週間 大島義夫 大学書林 昭44 二、〇〇〇
- 24 タイ語入門一(文) 富田竹一郎
大阪外大タイ語学研究室 贈写版二冊 昭30 三、五〇〇
- 25 新ニューギニア語入門 岩佐喜親 大塚書房 昭50 二、〇〇〇
- 26 満洲語の第一歩 堀井仁 博潮社書店 昭13 三、五〇〇
- 27 (英) ホッテントット語の音声の研究
D・M・ピーチ 一、六〇〇
- 28 オランダ語会話ハンドブック 朝倉純孝 大学書林 昭50 一、〇〇〇

- 30 アラビア語入門 カセット付 池田修 岩波 昭51 五、〇〇〇
- 31 アラビア語入門 黒柳恒男・飯森嘉助 泰流社 昭51 三、五〇〇
- 32 オール・イラストアラビア語の初歩の初歩 平田伊都子 南雲堂 昭54 一、八〇〇
- 33 (英) 独習アラビア語 トリット 一、五〇〇
- 34 (英) アラビア語文法入門 ライト 一、六〇〇
- 35 ベルシヤ語入門 黒柳恒男 泰流社 昭50 二、五〇〇
- 36 (英) ベルシヤ文字の書き方綴り方 泰流社 昭52 一、〇〇〇
- 37 (英) ベルシヤ語文法入門 ランブトン 昭42 二、〇〇〇
- 38 イタリア語四週間 野上素一 大学書林 昭44 二、〇〇〇
- 39 現代イタリア語の話 野上素一 昭45 一、〇〇〇
- 40 ラテン広文典 泉井久之助 白水社 昭45 二、〇〇〇
- 41 チベット文法入門 池田澄達 33頁 山喜房 昭40 一、〇〇〇
- 42 パーリ語文法 水野弘元 昭43 二、八〇〇
- 43 ウルドゥー語入門 蒲生禮一 泰流社 昭51 二、〇〇〇
- 44 ヒンディー語小辞典 土井久弥 大学書林 昭50 七、五〇〇
- 45 サンスクリット文法綱要 岩本裕 山喜房 昭43 二、〇〇〇
- 46 A SANSKRIT READER G・R・ランマン 一、六〇〇
- 47 フランス語のころろ 田辺保 至誠堂新書 昭44 八、〇〇〇
- 48 ビジネス英語 カセット・テキストセット 一、五〇〇
- 49 時事英語講座 研究社 五冊揃 昭42 五、五〇〇
- 50 英語以前 ドロナワ英語罷り通る(インナー) 昭52 一、〇〇〇
- 51 ポルノ解説辞典 ベンタングル編 波書房 昭46 一、五〇〇
- 52 アメリカ語入門 藤井光太郎 三省堂 昭45 一、〇〇〇
- 53 英語の話しかた 國弘正雄 サイマル出版会 昭45 一、〇〇〇
- 54 私はこうして英会話を身につけた 評論社 昭44 八、〇〇〇
- 55 入門英字新聞の読み方 加藤恭子 昭54 一、〇〇〇
- 56 速読の英語 松本道弘 プレジデント社 昭55 六、〇〇〇
- 57 通訳 英会話から同時通訳まで 國弘正雄他 シフト付 N・H・K 昭55 一、〇〇〇
- 58 通訳術 同時通訳から 西山千 実業之日本社 昭45 一、〇〇〇
- 59 翻訳一理論と実際 E・A・ニダ他 研究社 昭48 二、八〇〇
- 60 翻訳入門 その理論と技法 T・H・セイヴァリー 昭46 一、〇〇〇
- 61 誤訳悪訳の病理 現代ジャーナリズム出版会 昭46 一、〇〇〇
- 62 世界コトバの旅 藤原与一 朝日新聞 昭45 一、〇〇〇
- 63 20カ国語ペラペラ 藤原輝豊 実業之日本社 昭44 一、〇〇〇
- 64 現代米語文法 尾上政次 研究社 昭42 一、〇〇〇
- 65 (英) WORD BOOK NINAGAWA 五冊揃 一、五〇〇

- 66 英文契約書 作成と検校 岩崎一生 同文館 昭45 八、〇〇〇
- 67 服飾フランス語 田辺真之助監 鎌倉書房 昭44 一、八〇〇
- 68 テクニカル・ライディング 改訂版 昭44 二、八〇〇
- 69 日本科学技術翻訳協会 最新技術英文ハンドブック 是恒龍児監 改訂版 昭45 三、八〇〇
- 70 工業英語 別冊共 108冊 フレンドリー 昭49・4 創刊号 昭56・12 三、〇〇〇
- 71 料理のためのフランス語入門 柴田書店 昭45 二、〇〇〇
- 72 (国際会議・科学技術論文に必要な英語の決り文句集) 科学技術振興委員会(三冊) 昭45 二、〇〇〇
- 73 日本科学技術英語研究会編 八冊揃 昭44 五、八〇〇
- 74 証券英語の手引き 三國陽夫 日経新聞 昭48 九、〇〇〇
- 75 新訂模範貿易英語 中村新吾 東経新報 昭49 八、〇〇〇
- 76 (英) アメリカの詩と詩人 R・W・グリズワード編 ハイン・ゴードン 八冊揃 一、九〇〇
- 77 (英) サミエル・ジョンソン全集 十二冊揃 一、〇〇〇
- 78 (英) サミエル・ジョンソン書簡集 G・B・ヒル編 二冊 一、六〇〇
- 79 (羅) 聖書註解全書 J・P・ミーニユ 初版 THE MCKEY SCRIPTURAL COMMENTARIES 28冊完揃 一、八〇〇
- 80 (仏) 神話辞典 ノエル 二冊 パリ刊 一、八〇〇
- 81 (英) 日本歴史地理辞典 パビノー 東京刊 一、九〇〇
- 82 (英) 音楽・音楽家百科辞典 チヤムプリン 五百五十部限定・銅版画多数 二冊揃 一、八〇〇
- 83 (英) 図解馬の飼育調教百科 メイヒュー初版 一、八〇〇
- 84 (英) 大博物誌 ライデツカ 六冊揃 一、八〇〇
- 85 彩色石版図他図版挿絵多数 ロンドン 一、八〇〇
- 86 (独) 性科学便覧 A・モラーイブニツツ刊 一、九〇〇
- 87 (独) 結婚百科学 A・シユラーバール刊 一、九〇〇
- 88 (独) 精神医学辞典 C・ハリング他編 一、九〇〇
- 89 (英) 精神医学辞典 R・J・カンベリ他編 一、九〇〇
- 90 (仏) ワイン辞典 ボルドー刊 一、九〇〇
- 91 食物辞典 沢村真 昭3 四、五〇〇
- 92 英語学辞典 市川三喜 研究社 昭30 四、〇〇〇
- 93 (英) フリタナカ百科事典 平凡社 一、九〇〇
- 94 世界大百科事典 フランス版 平凡社 三十五冊揃 一、九〇〇
- 95 国民百科事典 平凡社 十七冊揃 昭54 四、〇〇〇

福田屋書店

電話(〇七五)七八一三三二六

- 〒606 京都市左京区田中里前町55
- 1 福島中佐遠征紀要 山本鶴嶺編 明26 四〇〇〇
 - 2 満洲案内 第2号 大連満洲案内社 明43 二五〇〇
 - 3 露国の闇黒面。露国皇室の内幕。二冊 シダコツ著 田原順次郎訳 民友社 明38 六〇〇〇
 - 4 満洲写真帖。鮮満遊記。二冊一帙 日本旅行会、満鉄KK。 昭4 三、五〇〇
 - 5 海軍兵学校生活 杉本巴水 明41 四〇〇〇
 - 6 海軍出身案内 附 海軍出身者名簿 附 海軍出身者名簿 附 海軍出身者名簿 明39 四〇〇〇
 - 7 珍事奇談 南海散士 名倉昭文館 明26 二、〇〇〇
 - 8 上海派遣軍記念写真帖 陸軍恤兵部 昭7 三、五〇〇
 - 9 上海派遣軍記念写真帖 帝園教育会 昭16 四、五〇〇
 - 10 立命館禁衛隊宝典 倉橋勇藏 昭12 三、〇〇〇
 - 11 現代八面鋒 久津見蔵村 背少損 昭12 三、〇〇〇
 - 12 融和問題の社会心理学的研究 下地寛令 昭13 五、〇〇〇
 - 13 京都府相楽郡誌 清水良策 大9 二、五〇〇
 - 14 明治卅七八年戦役記念誌 相楽郡尚武義会 明38 二、五〇〇
 - 15 相楽郡誌 相楽郡部会編 教科書版 昭11 二、〇〇〇
 - 16 相楽郡諸規程 相楽郡役所 大9 二、五〇〇
 - 17 記念相楽郡写真帖 郡役所 昭42 二、五〇〇
 - 18 相楽郡木津尋常小学校増改築落成記念誌 昭9 二、五〇〇
 - 19 宇治郡諸規程 宇治郡 明45 二、〇〇〇
 - 20 京都府教育会五十年史 吉村保編 昭5 四、五〇〇
 - 21 京都府教育会沿革 岡本清造編 大9 二、五〇〇
 - 22 日本音楽史 鈴木鼓村 少シケ有 昭19 四、五〇〇
 - 23 京焼 その歴史と展望 藤岡幸一 昭47 三、八〇〇
 - 24 染織史考 明石染人 昭2 二、五〇〇
 - 25 家庭実用趣味の腸結染 上野正 大12 二、五〇〇
 - 26 民家の庭 西村貞 毎日出版文化賞 昭32 三、五〇〇
 - 27 世界デカメロン号 文藝春秋社 昭2 二、五〇〇
 - 28 へーガルの社会的色欲論 緒方正清訳九善 明41 二、〇〇〇
 - 29 閑戯抄 大高四郎編 耽々洞 昭5 二、〇〇〇
 - 30 日本好色美術史 原浩三 風俗資料刊行会 昭5 二、八〇〇
 - 31 世界性美術資料写真集 文芸春秋社 昭6 四、五〇〇

善書堂

出町店 下602 電話(〇七五)二三一七七一
衣笠店 下603 電話(〇七五)四六二一三三七一

- 東京年中行事(二冊揃) 若月紫蘭著 春陽堂 明44 一、八〇〇
- 1 東京の裏面 永澤信之助編 明42 一、〇〇〇
 - 2 年中事物考 矢部善三著 素人社書屋 昭6 五、〇〇〇
 - 3 東海道名所図会 葵文会編 明43 五、〇〇〇
 - 4 浪速叢書 十七冊揃 会大 其刊行会 大15 一、〇〇〇
 - 5 河内九個荘村郷土誌 九個荘村役場 昭12 二、〇〇〇
 - 6 明治天皇大阪行幸誌 大阪市民博物館編 大10 四、〇〇〇
 - 7 京を訪問 京都市教育会編 昭3 五、〇〇〇
 - 8 畿内見物 京都之巻一 京尾種次郎編 明44 一、〇〇〇
 - 9 畿内合併記念伏見市誌 京伏合併記念編 昭10 六、〇〇〇
 - 10 近江奥地の文化財 宇野健一 藤本弘文堂 昭51 一、四〇〇
 - 11 和歌山県の文化財 和歌山教育委員会編 昭38 六、〇〇〇
 - 12 近畿郷土村落の研究 同社社大文学部研究所 昭39 四、〇〇〇
 - 13 諸国行脚名物津久誌 松本久吉編 大11 二、〇〇〇
 - 14 旅から旅へ 石井 満 佐藤出版部 大8 一、五〇〇
 - 15 唐津名勝案内 牧川茂太郎編集発行 明35 二、〇〇〇
 - 16 比叡山(精華叢書) 井上敬道編 昭7 二、五〇〇
 - 17 鳳来峡の山水(名勝名所案内) 生田硯川 大12 一、〇〇〇
 - 18 十和田・田澤・男鹿半島案内 鉄道省 大13 一、五〇〇
 - 19 羽越線案内(奥附欠) 矢野恒太郎編 明45 八、〇〇〇
 - 20 大庭訪日恭紀 国務院総務庁 康徳3 二、〇〇〇
 - 21 大庭のあらわした 西村真琴著 刀江書院 昭5 二、五〇〇
 - 22 地あきの垣覗き 松波仁一郎著 講談社 昭11 三、〇〇〇
 - 23 知られざる国々 志賀重昂著 日評版 昭18 一、五〇〇
 - 24 欧米女児物 道家齋一郎著 白鳳社 昭4 二、五〇〇
 - 25 欧米漫筆 上山柑太郎著 宝文館 昭2 二、五〇〇
 - 26 世界の謎(露西亜生活) 山田枯柳著(奥附欠) 一、五〇〇
 - 27 赤色露国的一年 中平亮著 大10 一、〇〇〇
 - 28 東西の風俗と民族精神 山崎高晴著 昭5 一、五〇〇
 - 29 浪花方言大番附 60cm×94cm 一枚 五、〇〇〇

井上書店

電話(〇七五)七八一三三二五二
振替 京都 七一二四九七

- 〒606 京都市左京区今出川通百万遍東入(京都大学前)
- 1 ルーテル伝講演集 内村鑑三函 岩波書店 大13 二、〇〇〇
 - 2 比律賓の宗教と文化 三吉朋十 偕成社 昭17 一、四〇〇
 - 3 英国史上下 アンドレモロア2冊 白水社 昭16 一、五〇〇
 - 4 考古学入門 濱田青陵 創元選書 昭17 一、〇〇〇
 - 5 日本茶道史 西堀一三 創元選書 昭16 一、〇〇〇
 - 6 一茶素描 相馬御風 道統社 昭16 一、〇〇〇
 - 7 山吹 室生犀星 初版 昭20 一、〇〇〇
 - 8 画魂 里見勝蔵 初版 昭23 一、〇〇〇
 - 9 不惜身命 山本有三 扶初版 昭17 一、五〇〇
 - 10 歌集帰潮 佐藤佐太郎 初版 昭27 一、〇〇〇
 - 11 百聞座談 内田百閒 箱イタミ初版 昭16 一、〇〇〇
 - 12 引越やつれ 井伏鱒二 初版 昭23 一、〇〇〇
 - 13 十年間 林芙美子 初版 昭15 一、五〇〇
 - 14 魚介 林芙美子 カバク初版 昭15 一、五〇〇
 - 15 創作ノート 林芙美子 初版 昭22 一、〇〇〇
 - 16 萬葉精粹の鑑賞上下 森本治吉 2冊 昭18 二、四〇〇
 - 17 人鷹の世界 森本治吉 昭18 二、〇〇〇
 - 18 はせお(芭蕉) 菊山當年男 昭20 二、〇〇〇
 - 19 花傭月令 徐右麒 創元支那叢書 昭17 二、〇〇〇
 - 20 日本上代の彫刻 望月信成 創元社 昭19 二、〇〇〇
 - 21 近江高天原の研究 橋本厚之助 昭11 二、〇〇〇
 - 22 空點房雜記 出隆 函初 昭14 一、七〇〇
 - 23 朝鮮要覽 昭和八年 朝鮮総督府 昭7 一、〇〇〇
 - 24 樺太要覽 昭和七年 樺太庁 昭7 一、〇〇〇
 - 25 朝鮮事情 昭和十四年版 朝鮮総督府 昭7 一、〇〇〇
 - 26 台湾事情 昭和七年版 台湾総督府 昭7 一、〇〇〇
 - 27 台湾事情 昭和十年版 台湾総督府 昭10 一、〇〇〇
 - 28 モラエス日本歴史 安田徳太郎 全6冊 昭17 一、〇〇〇
 - 29 人間の歴史 吉田茂 全6冊 昭32 二、〇〇〇
 - 30 世界と日本 吉田茂 全6冊 昭32 二、〇〇〇
 - 31 ヴァリエッタリ限定版 全2冊 人文書院 昭41 七、〇〇〇
 - 32 聖書講義 矢内原忠雄全8冊 岩波書店 昭53 四、〇〇〇
 - 33 岩波講座現代物理学の基礎第2版 全11冊 昭53 三、〇〇〇

文藻堂

〒604 京都市中京区新烏丸通竹屋町上ル
電話(075-231-1914) 振替 京都 8-615

1 若山牧水

わが庭の竹のはやしの浅けれど
降る雨みれば春は来にけり

美 一五〇、〇〇〇円

2 与謝野晶子

淡川にあふる、水の匂ひして
山のこひしき白梅の花

美 六〇、〇〇〇円

3 前田夕暮

たれか来たかたちよいと出てみ
たらくるまきこく日があたる

美 二五、〇〇〇円

4 野口雨情

梅の小枝にやぶ鶯は雪のふる夜
の夢を見る 梅の小枝

美 三〇、〇〇〇円

5 金子薫園

柳青葉、まい／＼ゆるるしが
やがて樹をゆるする風となりけり

美 一五、〇〇〇円

6 原阿佐緒

日に三度ひとり相むき版もるに
うらなつみるし日にも聊れたり

美 一五、〇〇〇円

7 小杉末醒

安房の国まなへの海のしづけさ
にふとおもひぬる古き恋かな

美 二五、〇〇〇円

8 吉沢義則

題 わか草 福寿草下絵アリ

美 八〇、〇〇〇円

9 尾上柴舟

さきおもる八重花桜ゆきくと
ゆる・がみえて夜の風ふく

美 二二、〇〇〇円

10 柳原白蓮

天に華人によるこび来る日や春
のやよひのあけほの色

美 一五、〇〇〇円

11 杉浦翠子

こゝにみる信濃山並はてしらす
いづべの山にわがよかけむ

美 一八、〇〇〇円

12 今中楓溪

神路山のやまはらかけて朝日子
のかけさすと見れば通くさしみつ

美 五〇、〇〇〇円

13 飯田莫哀

斑鳩の秋のみのり田まれく
つづけるはてに塔むつ立つ

美 五〇、〇〇〇円

14 大石順教

くらに筆とりてかけよと教へたる
鳥こそわれの師にてありけれ

美 一〇、〇〇〇円

15 加藤順三

題 佐々木先生の歌碑をこほ
ぎて

美 三、〇〇〇円

16 見原不月

秋鳩さす陣子をへだて、間近く
にすくなき水のおちる音する

美 三、〇〇〇円

17 佐々木信綱

「うらてしやまむ」で終る
戦時中の作歌 ちらし書

美 五、〇〇〇円

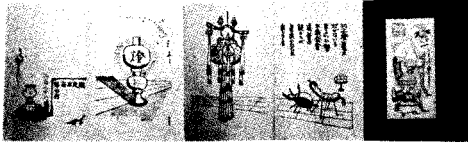
〒604 京都市中京区寺町通錦上ル

大書堂

電話 (075) 221-0685
振替 京都 3165



牡丹妖記 武井武雄豆本 第15冊 限定300部
木刻拓本摺峯村幹夫 武井武雄署名入 昭和23年
¥100,000



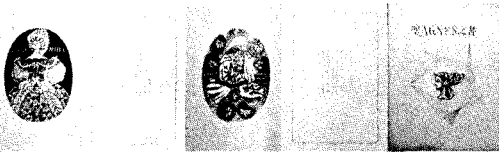
燈 武井武雄私刊豆本 第11冊 限定300部
木版摺刷 関野準一郎 武井武雄署名入
昭和20年 ¥100,000



乞食の本 武井武雄私刊豆本 第17冊 限定260部
木版武井武雄自刻 武井武雄署名入
昭和25年 ¥100,000



本朝昔噺 武井武雄私刊豆本 第7冊 限定300部 型摺(合羽摺)
関野準一郎 昭和16年 ¥100,000



聖AGNES之書 武井武雄私刊豆本 第18冊 限定260部
木口木版 昭和26年 ¥100,000



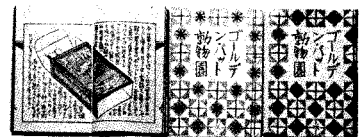
もりどんの話 武井武雄私刊豆本
第19限定260部 武井武雄自刻木版
稲垣稔次郎染紙 昭和26年 ¥100,000



のえるの書 武井武雄私刊豆本 第16冊
限定300部 糊染本 染色 稲垣稔次郎
合羽摺武井三春 昭和24年 ¥100,000



京都版画協会 第2.4.5 図展もくろく附版画集 昭和29年 豆本
浅野竹二、徳力富吉郎、朝賀記廊他 3冊 ¥30,000



ゴールデンバット動物園
前川千帆 自刻自摺 限定200部
署名入 昭和19年 ¥50,000

萩書房

〒602 京都市上京区烏丸通り上御霊前下ル
上御霊前町四二二

電話(〇七五)四二一三三二一
振替 京都 八一四三三六

- 1 北海道視察便覧 北海道鉄道老干里記念祝賀会 一枚大13 四、〇〇〇
- 2 平和記念東京博覧会会場案内図 一枚大11 四、〇〇〇
- 3 復興箱根温泉案内 遊覧地図 一枚大14 三、〇〇〇
- 4 鉄道線路地図 藤井友次郎編 附鉄道規程四枚 三、〇〇〇
- 5 大13第六版・大14第七版・大15第九・十版四冊 三、〇〇〇
- 6 観光の近江 滋賀県管内全図附 滋賀県 昭8 二、〇〇〇
- 7 朝鮮鉄道旅行便覧 京都帝國大学学友会編 昭8 三、〇〇〇
- 8 大東亜地理民族学 高山洋吉訳 朝鮮総督府 大12 三、〇〇〇
- 9 太平洋民族学 太平洋協会編 岩波 印有昭17 一、五〇〇
- 10 フィリピン^の自然と民族 太平洋協会編 改装 印有昭17 二、〇〇〇
- 11 ホップ太平洋地政学 太平洋協会編 岩波書店 昭17 二、〇〇〇
- 12 日本灌溉水利慣行の史的研究 総論編 喜多村俊夫 昭25 八、〇〇〇
- 13 玄峰老師 高木蒼梧 大蔵出版 昭38 三、〇〇〇
- 14 恭隨老師 同老師追慕会 昭13 三、〇〇〇
- 15 一燈園と西田天香の生活 福井昌雄モナス 昭12 三、〇〇〇
- 16 白沙村人隨筆 橋本閑雪 中央公論社 昭32 五、〇〇〇
- 17 天夢遺稿 明石吉五郎・千葉康一編 昭12 四、〇〇〇
- 18 年鑑シナリオ作家集 シナリオ作家協会編 三笠書房 一九五二年版・一九五四年版各冊 二、〇〇〇
- 19 劇団五十年 中村鞆衛門 未來社 昭55 二、五〇〇
- 20 京舞 京都新聞編集局編 昭35 一、五〇〇
- 21 佐多女聞書 井上甚之助 小野竹喬装釘 昭48 二、〇〇〇
- 22 舞台極楽 井上甚之助 上村松篁装釘 昭47 二、〇〇〇
- 23 わたしの京都 井上甚之助 昭28 一、五〇〇
- 24 伏見人形の原型 奥村寛純編著 限定一〇〇部 昭51 三、〇〇〇
- 25 戦後京の二十年史 夕刊京都社 昭41 一、五〇〇
- 26 松尾大社造園誌 河田晴夫編著 昭50 二、〇〇〇
- 27 西陣機業概観と西陣郷土読本 西陣信用金庫 昭42 二、五〇〇
- 28 京都市教育史 資料目録 京都市教育研究所 昭48 二、〇〇〇
- 29 上賀賀百年のあゆみ昭48・開智校百年誌昭44・山階昭47 二、〇〇〇
- 30 中立百年誌昭44・修徳百年の回顧昭44・鳳徳五十年誌昭 二、〇〇〇
- 31 56 警察校百年史昭45・衣笠子ども風土記昭48 各冊 一、〇〇〇

藤井文政堂

〒600 京都市下京区寺町通り五条上ル

電話(〇七五)三五一九三六三
振替 大阪 七三一一五一

- 1 拾遺和歌集断巻 室町期 一枚 二、五〇〇
- 2 新古今和歌集断巻 伝為明筆 一枚 八、〇〇〇
- 3 連歌切断巻 伝法印行助筆 一枚 七、〇〇〇
- 4 連歌切断巻 伝法橋兼載筆 一枚 七、〇〇〇
- 5 宝蔵坊信海筆 和歌色紙 一枚 四、五〇〇
- 6 和歌切断巻 伝修理大夫長慶筆 一枚 七、〇〇〇
- 7 風早実種短冊 香道風早派祖 寛永七年歿 三、〇〇〇
- 8 坊城俊秀短冊 権大納言(裏打浦有り) 寛正六年歿 二、〇〇〇
- 9 吞輔短冊 禪僧 永平寺龍門寺に住ス(裏打) 天正十六歿 七、〇〇〇
- 10 飛鳥井雅綱短冊 筆蹟慶安年鑑ニ出ズ(上部キナリ) 永禄歿 八、〇〇〇
- 11 小野忠明短冊 神子上一刀流劍客 寛文歿 二、〇〇〇
- 12 般若清賢短冊 筆蹟慶安年鑑ニ出ズ 元禄歿 七、〇〇〇
- 13 梅園實相短冊 正二位右兵衛督(裏打有り) 元文歿 三、〇〇〇
- 14 鷲尾隆長短冊 三位大納言(裏打有り) 元文歿 三、〇〇〇
- 15 松木宗保短冊 左中将正四下 正保歿 五、〇〇〇
- 16 加茂氏祥短冊 歌人書家 從四位書博士 天保歿 二、〇〇〇
- 17 大橋長廣短冊 歌人国学者本居門人 喜永歿 二、〇〇〇
- 18 生嶋儀重短冊 歌人從三位 文化歿 一、〇〇〇
- 19 尊観上人 石山寺座主歌人 元治項 二、〇〇〇
- 20 明阿了道上人短冊 浄土宗浄土寺僧 浄土宗浄土寺僧 明治項 二、〇〇〇
- 21 小堀大観短冊 大徳寺孤蓬庵住職 明治項 二、〇〇〇
- 22 岸上快頓短冊 浄土宗碩学平等院住 明治歿 一、五〇〇
- 23 脇坂義堂短冊 心学者 やしなひ草の著 天明項 二、〇〇〇
- 24 三田花朝尼短冊 女流歌人 景樹門人 明治項 一、五〇〇
- 25 石井光子短冊 女流歌人「いしるの水」著 明治項 一、五〇〇
- 26 本田隆軒短冊 蘭ノ絵 二、〇〇〇
- 27 世継叔室短冊 一、〇〇〇
- 28 桂ノ宮親王御染筆短冊 九、〇〇〇
- 29 三条実美短冊 一五、〇〇〇
- 30 高松保実短冊 少シミヨリ 五、〇〇〇
- 31 徳大寺実則短冊 八、〇〇〇
- 32 慈光寺有仲短冊 八、〇〇〇
- 33 中山愛親 イタミヨリ 五、〇〇〇

沢田書店

〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル
同志社正門前

電話(〇七五)四五一〇五三三
振替 京都 九一一四八

- 1 魔女セレスティナ ローハス大島沢 外国文学会 昭50 一、〇〇〇
- 2 三津五郎装特製本井上甚之助 初版函付 昭25 二、五〇〇
- 3 中村鶴治郎を偲ぶ 白井松次郎 函付 創元社 昭10 一、〇〇〇
- 4 わが歌舞伎 正統二冊 戸板康二 和歌書店 昭23 一、〇〇〇
- 5 歌舞伎芸術 大宰施門 三省堂カバ付 昭17 一、〇〇〇
- 6 羽左衛門評話 三宅周太郎 高山房カバ付 昭21 一、〇〇〇
- 7 延寿芸談 五世清元延寿大夫 三香書院 昭18 一、〇〇〇
- 8 團菊物語舞台訓 井口政治 三香書院 昭17 一、〇〇〇
- 9 演劇手帳 三宅周太郎 甲文社 昭22 一、〇〇〇
- 10 歌舞伎十八番 戸板康二 中央公論社 昭30 八、〇〇〇
- 11 伊那谷の唄 月明文庫 山崎斌編 熊谷元 挿画 昭17 一、〇〇〇
- 12 現代流行歌合集 二巻 清水編 新興音楽出版 昭23 一、〇〇〇
- 13 茶道 茶会作法篇 全集巻の二 函付 創元社 昭17 一、〇〇〇
- 14 隨筆竹 竹内叔雄 函付 昭森社 昭16 一、〇〇〇
- 15 雨の降る日は天気が悪い 土井晩翠 大雄閣 初版 昭9 二、〇〇〇
- 16 隨筆某月某日 高村光太郎 龍皇閣 初版 函付 昭18 一、〇〇〇
- 17 隨筆大和 白井喜之介 一條書房 昭18 一、〇〇〇
- 18 洗心録 幸田露伴 趣味の教育会 昭14 一、〇〇〇
- 19 骨董 初版 幸田露伴 東京出版K K 昭21 一、〇〇〇
- 20 冬鶯 初版 函付 倉田百三 人文書院 昭16 一、〇〇〇
- 21 翌年 初版 志賀直哉 小山書店 昭17 一、〇〇〇
- 22 海舟先生水川清治 吉本襄 大文館 昭17 一、〇〇〇
- 23 聞のなかの黒い馬 初版 函 植谷雄高 河出書房 昭45 一、〇〇〇
- 24 斜陽 初版 太宰治 新汐社 昭23 一、〇〇〇
- 25 日本風土病 病魔(なまむ)溼地の毒懸 佐々学 法政大学 昭34 一、五〇〇
- 26 印刷発注マニュアル 改訂 澤田和雄 文化社 昭43 一、〇〇〇
- 27 用紙発注マニュアル 澤田和雄 文化社 昭43 一、〇〇〇
- 28 チラシ広告マニュアル 澤田井上著 文化社 昭43 一、〇〇〇
- 29 植物記 カバ付 牧野富太郎 桜井書店 昭18 一、〇〇〇
- 30 ルイセンゴ学院 ネオモデル会編 北隆館 昭23 一、〇〇〇
- 31 最新必読農業録増補版 上巻 朝倉書店 昭23 一、〇〇〇
- 32 性の現象 朝山新一 白井書房 昭23 一、〇〇〇
- 33 カムイ伝マックス 第一部白土三平全21巻セット 小学館 昭52 六、〇〇〇

赤尾照文堂

千604 京都市中京区河原町通六角下ル

電話(〇七五)二二二一五八八 振替 京都 三三二二六

世界大思想全集 分売

- 1 19世紀文学思潮史 全4巻 ブラウンデス 吹田 一六〇〇〇
- 2 全訳実証哲学 上・下 コント 石川三四郎 四五〇〇
- 3 ルネッサンス ペーター・論文集 アーノルド 六八〇〇
- 4 イマニエル・カント パウルゼン 伊達・丸山 二二〇〇〇
- 5 ヴェニスの石 上・下 ラスキン 賀川豊彦 三三〇〇〇
- 6 近世画家論 全4巻 クロオチエ 青木巖 六〇〇〇
- 7 ヴェイコの哲学 クロオチエ 青木巖 六〇〇〇
- 8 哲学辞典 ヴォルテール 安谷寛一 四〇〇〇〇
- 9 純正現象学的及現象学的哲学概観 フッセル 三〇〇〇〇
- 10 宗教論 エームス 神保勝世 三〇〇〇〇
- 11 プラトールとプラトール主義・ギリシャの芸術 ベーター 八太舟三 一四〇〇〇
- 12 国家 ブラトン・感情論 デカルト 一〇〇〇〇
- 13 モナド論 ライブニッツ・メタフュジカ 一〇〇〇〇
- 14 冥想録 アウレリウス・幸福論 セネカ 一〇〇〇〇
- 15 随感録 パスカール・懺悔録 オーガスチン 一〇〇〇〇
- 16 プリンシピア ニウトン 岡 邦雄 一〇〇〇〇
- 17 方法通説 デカルト・民約論 ルソオ 一〇〇〇〇
- 18 ツァトゥストラの斯く語るニーチェ 加藤 一〇〇〇〇
- 19 素朴の文学と感傷の文学 シラア 佐久間 一〇〇〇〇
- 20 エミール ルソオ 平林初之輔 一〇〇〇〇
- 21 全訳国富論 上・下 スミス 青野季吉 一〇〇〇〇
- 22 悟性論 ロック・人生論 ヒューム 香原 一〇〇〇〇
- 23 ラオコオン レッシング・レオパルヂス 一〇〇〇〇
- 24 純粋料理性批判 カント 安藤春雄 一〇〇〇〇
- 25 団体的社会主義要綱 フーリエ 加藤一夫 一〇〇〇〇
- 26 政治的正義 ゴッドウイン 神永文三 一〇〇〇〇
- 27 全訳人口論 マルサス 柳田泉 一〇〇〇〇
- 28 知識学 フイヒテ 河面仙四郎 一〇〇〇〇
- 29 代表偉人論・自然論 エアマソン 柳田泉 一〇〇〇〇

- 30 論文集 ショーペンハウエル 佐久間政一 一〇〇〇
- 31 人生論・芸術論 トルストイ 柳田・加藤 一〇〇〇
- 32 功利論 ベンサム・自由論 ミル 高橋久刺 一〇〇〇
- 33 全訳種の起源 ダーウイン 内山賢次 一〇〇〇
- 34 全訳第一原理 スペンサー 沢田謙 一〇〇〇
- 35 芸術と宗教 スティルネル 辻 潤 一〇〇〇
- 36 論文集 ホイットマン・文明論 カペンタ 一〇〇〇
- 37 全訳婦人論 ベーベル 加藤一夫 一〇〇〇
- 38 近代科学と無政府主義 ネットロキン 八太 一〇〇〇
- 39 無政府主義思想史 クロポトキン 新居格 一〇〇〇
- 40 社会に就いての新見解 オーエン 加藤一夫 一〇〇〇
- 41 社会学原理 ギッディングス 内山賢次 一〇〇〇
- 42 メンデルの遺伝原理 ベートソン 小酒井 一〇〇〇
- 43 創造的統一 タゴール・論文集 ガンデー 一〇〇〇
- 44 真理の意味 ジェームズ・論理学 ヘーゲル 一〇〇〇
- 45 科学概論 ビアソン 平林初之輔 一〇〇〇
- 46 カントのマルクス主義 アドラー 井原礼 一〇〇〇
- 47 カント純粋理性批判解説 コーヘン 今田 一〇〇〇
- 48 新キリスト教論 シモン・生命力の発展ユング 一〇〇〇
- 49 社会学論 コール・社会改造の原理 ラッセル 一〇〇〇
- 50 マルキシズムの改造 ベルンシュタイン 松下 一〇〇〇
- 51 相対性理論 アインシュタイン 石原純 一〇〇〇
- 52 教育文献篇(ベスタロッチ・フレイベル他) 一〇〇〇
- 53 無何有郷通信記 モリス・ユートピア モーア 一〇〇〇
- 54 仏典篇(浄土三部経・維摩経・勝鬘経他) 一〇〇〇
- 55 東西宗教文献篇 野々村成三 一〇〇〇
- 56 支那思想篇 山口 剛 一〇〇〇
- 57 日本思想篇 井筒節三 一〇〇〇
- 58 社会学上より見たる芸術 ギュイヨオ 一〇〇〇
- 59 充足根據の原理 ショペンハウエル 河合 一〇〇〇
- 60 歴史哲学 ヘーゲル 鬼頭英一 一〇〇〇
- 61 社会科学方法論・経済と社会 シュパン 向井 一〇〇〇
- 62 経済学及課税の諸原理 リカドール 吉田 一〇〇〇
- 63 精神科学序説 上 デイリタイ 鬼頭英一 一〇〇〇
- 64 純粋哲学概論 パウ 賀川豊彦 一〇〇〇
- 65 ギンケルマン 井島 勉 一〇〇〇
- 66 マックス・シェラー 田中熙 西哲叢書 昭12 五〇〇〇
- 67 アウグステイヌス 松村克己 西哲叢書 昭28 四〇〇〇
- 68 ヘーゲル 高山岩男 西哲叢書 昭11 三〇〇〇

- 69 フッセル 下程勇吉 西哲叢書 昭12 六〇〇〇
- 70 プラトン 長沢信寿 西哲叢書 昭11 四〇〇〇
- 71 明治哲学史研究・増補大正哲学史研究(一冊) 船山信一 三〇〇〇
- 72 哲学的分析 市井三郎 岩波書店 昭40 四〇〇〇
- 73 実存性の哲学 金子武蔵 清水弘文堂 昭42 四〇〇〇
- 74 体系と展相 山内得立 岩波書店 昭5 七〇〇〇
- 75 現象学序説 山内得立 岩波書店 昭43 一六〇〇〇
- 76 「存在の論理学」研究 松本正夫 橋高倫一 昭6 一八〇〇〇
- 77 哲学方法論 ハルトマン 青木巖 昭17 四〇〇〇
- 78 ヴェイコの哲学 クロオチエ 青木巖 昭15 四〇〇〇
- 79 社会と倫理(カント倫理思想の社会的考察) 小牧治 昭34 四〇〇〇
- 80 ヘーゲルの国家観 金子武蔵 岩波書店 昭45 一〇〇〇
- 81 独乙哲学及哲学者 サンタヤナ 小島茂雄 大12 四〇〇〇
- 82 フランス哲学思潮 クレソン 川口 篤 昭26 七〇〇〇
- 83 哲学の擁護 コンフォース 花田圭介 昭39 三〇〇〇
- 84 ハイデッガーの哲学 フィッシャー 佐藤昭16 三〇〇〇
- 85 ヤスパース研究 鈴木三郎 創元社 昭28 八〇〇〇
- 86 デイルタイの哲学 勝部謙造 改造社 大15 八〇〇〇
- 87 アインシュタイン自由意志の研究 印具徹 弘文堂 昭33 五〇〇〇
- 88 反復 キェルケゴール 榊田啓三郎 昭25 四〇〇〇
- 89 インド正統派哲学思想の始源 佐保田鶴治 昭38 一五〇〇〇
- 90 朝鮮哲学史 鄭聖哲・金昌元 昭37 七〇〇〇
- 91 支那思想研究 高瀬武次郎 文盛堂 七〇〇〇
- 92 支那思想研究 橋 樸 日本評論社 昭15 四〇〇〇
- 93 中国哲学史 狩野直喜 岩波書店 昭55 三〇〇〇
- 94 仁の研究 山口察東 岩波書店 昭13 八〇〇〇
- 95 仁の研究 大東文化大学 昭41 四〇〇〇
- 96 古代イスラエル研究 関根正雄 岩波 昭47 五〇〇〇
- 97 アリストテレス研究 藤井義夫 岩波 昭44 四〇〇〇
- 98 天体論 アリストテレス全集④ 昭51 四〇〇〇
- 99 問題集 アリストテレス全集⑪ 昭53 四〇〇〇
- 100 政治学・経済学 アリストテレス全集⑮ 昭44 五〇〇〇
- 101 詩学・断片集 アリストテレス全集⑰ 昭47 八〇〇〇
- 102 ミノス・法律 プラント全集⑬ 昭54 七〇〇〇
- 103 テアゲス プラント全集⑭ 昭55 七〇〇〇
- 104 安部能成選集 全5巻 小山書店 昭23 九〇〇〇
- 105 九鬼周造全集 全12巻 岩波書店 昭57 七〇〇〇

〒606 京都市左京区北白川久保田町64の5
社会科学系と
外山書店
電話(〇七五)七〇一六六七
振替 京都 九一六三八四

- 1 プロレタリアの社会学 住谷悦治 昭7 五,〇〇〇
- 2 トムソン・亜細亜の人口問題 石丸藤太郎 昭6 二,〇〇〇
- 3 欧米視察案内 林 富平 大9 五,〇〇〇
- 4 欧米の都市河川 大塚高志 昭54 三,〇〇〇
- 5 デグラス・コムンテルン・ドキュメント 全3冊 荒畑寒村他 昭52 二,〇〇〇
- 6 共産主義社会主義の解剖 夏秋亀一 昭6 二,〇〇〇
- 7 幸徳秋水―評論と随想 河野広道 昭24 三,〇〇〇
- 8 片山潜と共に 渡辺春男 昭30 五,〇〇〇
- 9 片山潜 全2冊 岸本英太郎他 昭35 九,〇〇〇
- 10 石油国策と思想問題 金子三四郎 昭8 四,〇〇〇
- 11 厚生省二十年史 同編集委 昭35 八,〇〇〇
- 12 近代民衆の記録 全10冊 新人物往来社 昭43 三,〇〇〇
- 13 松島新地誌 (旧) 松島新地組合 昭4 二,〇〇〇
- 14 パランス・労働の哲学 浮田和民 昭4 二,〇〇〇
- 15 戦後日本の労働調査 労働調査研究会編 昭45 五,〇〇〇
- 16 日本労働問題研究 氏原正治 昭46 四,〇〇〇
- 17 失業問題研究 北岡寿逸 昭17 二,〇〇〇
- 18 英国に於ける失業及其対策 協同会 昭6 五,〇〇〇
- 19 英逸労働戦線と産業報國運動 森戸辰男 昭16 五,〇〇〇
- 20 マイネッケ・国家と個性 山中治一 昭19 三,〇〇〇
- 21 国家構造論 尾高朝雄 昭11 四,〇〇〇
- 22 現代政党の社会階級関係史編 藤井新一 昭5 二,〇〇〇
- 23 現代独裁政治論 上下 今中次麿 昭5 二,〇〇〇
- 24 フエロ・世界の統一 浮田和民 昭4 二,〇〇〇
- 25 ローズ・新独逸の政治組織 藤井新一 昭6 二,〇〇〇
- 26 明治維新前後に於ける政治思想の展開 石川哲三 昭53 二,〇〇〇
- 27 国宝杉浦重剛(解説座談会) 森 正蔵 昭21 一,〇〇〇
- 28 旋風二十年 上下 黒田謙一 昭17 三,〇〇〇
- 29 日本植民思想史 藤沢親雄 昭16 三,〇〇〇
- 30 全体主義と皇道 池崎忠孝 昭11 三,〇〇〇
- 31 最近軍事問題論攷 赤池 濃 昭14 一,〇〇〇
- 32 支那事変と猶太人

- 33 ザール・ナチス運動史 高橋健二 昭16 一,八〇〇
- 34 猶太禍 北上梅石 大12 二,〇〇〇
- 35 京都府警察史 第12巻 (2冊) 同編集会 昭50 五,〇〇〇
- 36 大阪府警察史 第1巻 同編集会 昭45 三,〇〇〇
- 37 大阪府警察20年の記録 府警本部 昭50 三,〇〇〇
- 38 奈良県警察史 全2冊 同編集会 昭53 四,〇〇〇
- 39 熊本県警察史 第一巻 同編集会 昭54 六,〇〇〇
- 40 穂積八束博士論文集(改装本) 穂積重威 昭17 五,〇〇〇
- 41 実定法秩序論 尾高朝雄 昭19 二,〇〇〇
- 42 法の本质 美濃部達吉 昭10 三,〇〇〇
- 43 憲法の原理 宮沢俊義 昭51 五,〇〇〇
- 44 類集評論行政法判例 全2冊 美濃部達吉 大14 四,〇〇〇
- 45 法律行為乃至時効 鳩山秀夫 大2 四,〇〇〇
- 46 平時国際公法 全10冊 高橋作衛 明36 五,〇〇〇
- 47 大塚久雄著作集 全19冊 岩波書店 昭45 三,〇〇〇
- 48 中山伊知郎全集 全19冊 講談社 昭48 五,〇〇〇
- 49 経済と社会 福井孝治 昭14 二,〇〇〇
- 50 重商主義解体期の研究 小林 昇 昭30 三,〇〇〇
- 51 リカアト・経済原論 堀越夫 昭13 二,〇〇〇
- 52 現代経済学 上下 新聞・渡辺 昭43 三,〇〇〇
- 53 グラフ・現代厚生経済学 南部外訳 昭48 四,〇〇〇
- 54 ロビンソン・資本蓄積論 杉山 清 昭32 三,〇〇〇
- 55 ロビンソン・雇用理論入門 小口弘 昭28 一,〇〇〇
- 56 新利子論研究 高田保馬 昭15 三,〇〇〇
- 57 新利子論 高田保馬 昭22 二,〇〇〇
- 58 利子の理論 安田 充 昭40 二,〇〇〇
- 59 国民所得論 山田雄二 昭46 二,〇〇〇
- 60 経済国策の提唱 山本条太郎 昭5 二,〇〇〇
- 61 世界経済界に於ける日本 参謀本部 昭8 二,〇〇〇
- 62 不完全競争の理論 池田一新 昭40 四,〇〇〇
- 63 ミソ比較経済論 野田早苗 昭32 二,〇〇〇
- 64 インドの政治と経済 世界経済調査会 昭17 二,〇〇〇
- 65 インフレーションの金融と経済 小島 昭8 二,〇〇〇
- 66 金本位制停止後の英国財界 東京商工会議所 昭7 二,〇〇〇
- 67 ソーベル・ウォール街二百年 安川七郎 昭45 三,〇〇〇
- 68 神戸税関沿革略史 神戸税関 昭6 五,〇〇〇
- 69 工作機械発達史 奥村正二 昭16 三,〇〇〇
- 70 日本の電気事業 三宅晴輝 昭26 二,〇〇〇

- 71 我々等リンドバーク半自叙伝 宇都宮爽平 昭4 二,五〇〇
- 72 農民運動論 稲村順三 他 昭24 一,七〇〇
- 73 日本農村の文化運動 田村隆治 昭17 七,〇〇〇
- 74 能都町史 第二巻漁業編 石川県町役場 昭56 三,〇〇〇
- 75 高知県漁業発達史(戦後編) 中井昭 昭48 二,〇〇〇
- 76 鹿児島県水産史 鹿児島県 昭43 八,〇〇〇
- 77 近世封建社会史論 奈良本辰也 昭23 三,〇〇〇
- 78 現代史―日本の百年―上下 文明協会編 昭32 二,〇〇〇
- 79 近世文化史上に於ける大隈重信侯 上田三平 昭47 四,〇〇〇
- 80 増補改訂日本薬園史の研究 福山敏男 昭52 七,〇〇〇
- 81 伊勢神宮の建築と歴史 秋里藤島 昭51 八,〇〇〇
- 82 東海道名所図会 全2巻 日本資料刊行会 昭5 八,〇〇〇
- 83 芸州 全19冊 岩波書店 昭53 五,〇〇〇
- 84 愚沙 岩波書店 昭41 五,〇〇〇
- 85 西田幾太郎全集 全20巻 岩波書店 昭53 六,〇〇〇
- 86 和辻哲郎全集 全5冊 白水社 昭57 三,〇〇〇
- 87 野田又夫著作集 全5冊 佐藤清勝 昭18 五,〇〇〇
- 88 野田又夫著作集 全5冊 岩崎沢 昭42 六,〇〇〇
- 89 ロースン・映画芸術論 世界大思想全集 春秋社 昭2 一,〇〇〇
- 90 ゴッドウィン政治的正義 20・フイヒテ・知識学・シュライエルマッヘル・宗教学 25・26 コント実証哲学 上下 29・ステイルネル・唯一者とその所有 芸術と宗教(他) 35・ネットラウ無政府主義思想史 ソレル・マルクス説の崩解 36・オーエン・社会に就ての新見解他 44・サマン・シモン・新キリスト教論他 47・カウツキー・マルキシズム修正の駁論他 55・ギエイヨト・社会学上より見たる芸術 56・リッケルト・歴史哲学 フッセル・純粋論理学へのブロンゴーマナ 61・ラスキン・ヴェニスの上 上下 新渡戸稲造全集 全16冊 教文館 昭44 一,〇〇〇
- 91 新渡戸稲造全集 全16冊 教文館 昭44 一,〇〇〇
- 92 京都教育思想史 上下 篠原助市 昭25 二,〇〇〇
- 93 京都帝国大学二閣スル法令附事務例規 昭43 二,〇〇〇
- 94 京都小学三十年史 仲新解題 昭56 二,〇〇〇

〒600 京都市下京区七条通堀川角

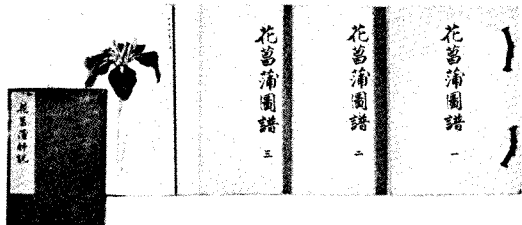
谷 書 店

電話(〇七五) 三六一一七六九五
振替 京都 一一一七九

- 1 琉球芭蕉布 京都書院 辻合喜代太郎 昭47四、〇〇〇
限定一五〇〇部 著者サイン入
研究解説と芭蕉布見本製地五十三点を貼付した二冊
子で構成。装本は総て黒谷和紙仕立。
- 2 千代紙紋様百趣 京都書院 吉本嘉明 昭46六、〇〇〇
初編の橋本。江戸期より昭和初期にかけての趣き
高い千代紙実物紙一七六種を貼付。
- 3 日本の草木染 京都書院 上村六郎 昭41三、〇〇〇
限定一〇〇〇部
草木染研究書では、最高評価の図書。斯界随一の
著者が、古代から近代に到る草木染に関する歴史、
染料、工程などを論述し、見本染布五十二種をも
貼付した書。
- 4 染の型紙 便利堂 京都国立博物館編 昭43二五、〇〇〇
西村猪之助氏が苦心蒐集、京博保管の染色用型紙
三千点の中から、四五九図を厳選収録。小紋・縞・
中形など、概説と図版解説で、その芸術の高さを
補足した。
(英文解説入)
- 5 むらさきくさ 河出書房 前田干寸 昭31四、〇〇〇
限定一一〇〇部
王朝貴族が、古来より珍重した色彩、「むらさき」
を軸とし、日本色彩の文化史的役割をしめした研
究書。
- 6 鐔集成 中央公論 中村鐵青 昭38六、〇〇〇
限定一〇〇〇部
刀の重要な部分である鐔。本書では刀匠鐔から幕
末にかけて用いられた日本刀の鐔を集成したも
ので、学術的研究はもとより、それらの持つ文様
の素晴らしさもうかがう事が出来るユニークな図
書である。
- 7 良寛 筑摩書房 安田敏彦監修 昭39三、〇〇〇
款の秀抜と書の美しきで近年特に注目されている

- 8 良寛和尚の全貌をまとめた図書。
正倉院の組紐 平凡社 正倉院事務所編 昭48三、〇〇〇
昭和43年より二年間にわたって調査された院蔵の
三百点余の組紐の学術調査の成果と、これに関連
する多数の図版を収載。
- 9 薬用植物画譜 解説・刘米達夫 画・小磯良平 昭48二、〇〇〇
京大名誉教授、薬学博士刘米達夫氏と、東京芸大
名誉教授、画家小磯良平氏の共書。
「武田薬報」に13年間にわたり掲載されたものを
一部修正して出版。好事家、研究者より非常に評
価の高い図書。
- 10 石井鶴三版画集(特装版) 形象社 昭53六、〇〇〇
限定二〇〇部
著者オリジナル木版画「馬と少年」が付いた豪華
特別仕立の愛蔵版。
- 11 劉生画集 平凡社 武者小路実篤 昭37三、〇〇〇
限定一五〇〇部
背羊皮。図版台紙貼愛蔵版。原色版印刷・木板刷
併載。
- 12 江戸紙屋とその広告図集(続編) 関 義城 昭44一、〇〇〇
限定二五〇部
江戸・明治期の紙商の記録、その図絵、和洋紙店
の広告など、紙一について徹底研究。
巻末にその期の見本誌三十種を貼付。
- 13 越前和紙 福井県和紙工業協同組合 昭45八、〇〇〇
限定五〇〇部
越前和紙見本帖。二六九種収録。
- 14 古今紙漉図集 関 義城 昭34五、〇〇〇
古今東西に亘る紙漉の図を一四七点収録。(英文解
説併載) また、和紙標本紙一〇〇種も同収し、そ
の紙名、年代、用途、産地などを明示。
- 15 白石紙 美術出版社 菅野新一 昭39八、〇〇〇
限定三〇〇部
白石和紙について、その歴史、漉工程等研究解説。
また、分冊に白石紙一〇三種の和紙見本をも添え、
白石を大切にする著者の細やかな愛情がうかがわ
れる貴重本。
- 16 和紙年表(特装版) 三茶書房 池田秀男 昭49一、〇〇〇

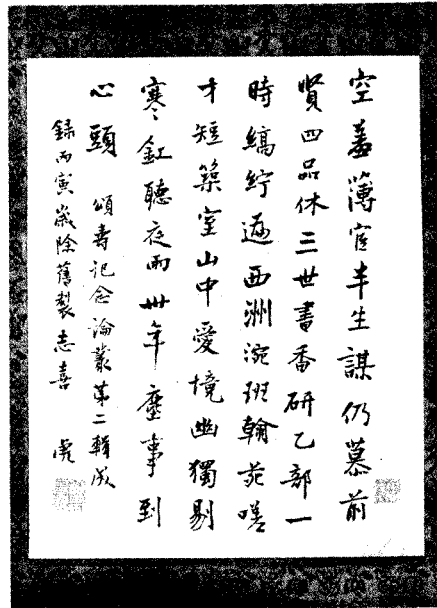
- 17 正倉院のガラス 日本経済新聞社 昭40五、〇〇〇
正倉院事務所編
千二百余年の間正倉院に秘蔵されて来たガラスの
全容を紹介。奈良期のわが国ガラス製造の実体と、
中国及び西域の古代ガラスとの関係をも究明した
図書。
- 18 正倉院の陶磁 日本経済新聞社 昭46八、〇〇〇
正倉院事務所編
地上に伝存して来た世界最古の陶器である奈良時
代の須恵器をはじめ、世界的に著名な緑・黄・白
三色の組み合わせによる「正倉院三彩」とよばれ
る彩種陶器など、図版と共に詳しく解説。
- 19 正倉院 毎日新聞社 石田茂作 昭29二、〇〇〇
正倉院御物全般にわたり、図版に併せて精緻に解
説を施した定本。
- 20 花菖蒲図譜 三好学著 芸妙堂版 大正10年
木版100図の内 第25図一葉欠
¥300,000



20 花菖蒲図譜 三好学著 芸妙堂版 大正10年
木版100図の内 第25図一葉欠
¥300,000

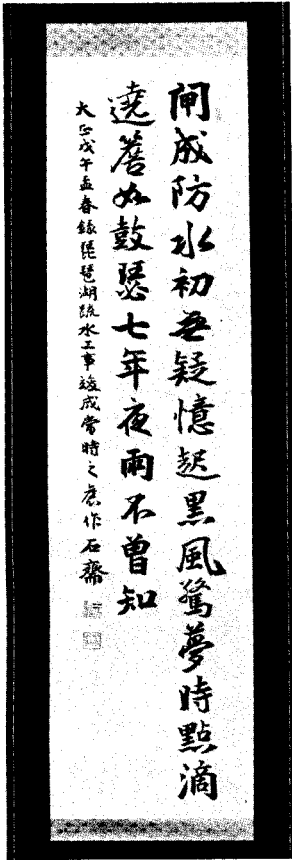
内藤湖南色紙 自題共箱

一幅 二二〇、〇〇〇円



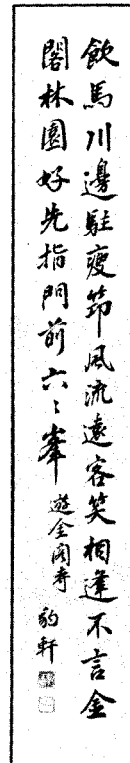
田辺朔郎七絶 自題共箱

一幅 一六〇、〇〇〇円



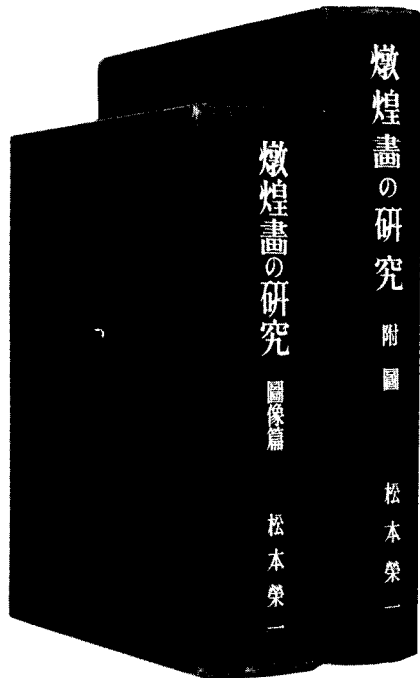
鈴木虎雄短冊

二〇、〇〇〇円



燉煌圖の研究 松本榮一

二冊 六〇〇、〇〇〇円



〒 530 大阪市北区芝田一丁目六番二号

阪急古書のまち

(株) 臨川書店 大阪店

電話(〇六)三七四一三〇〇
 振替 京都 八〇〇番

営業時間 午前十一時—午後八時 定休日 毎週水曜日

〒606 京都市左京区浄土寺西田町八十一
 法律・経済思想 竹岡書店
 電話(〇七五) 七六一―四五五四
 振替 京都 五一四二六二二

31	文学と思想()	No. 409	昭33	五〇〇
30	ケール先生記念特輯(思想)	No. 133	昭8	三〇〇
29	現代生物学の思想()	1巻―10	昭55	二〇〇
28B	現代生物学の思想()	8巻―3号	昭48	二〇〇
28	現代生物学の思想()	1巻―10	昭55	二〇〇
28	現代生物学の思想()	5巻―13	昭52	二〇〇
27	選挙	第94号	昭50	一〇〇
26	二・二六事件()	第92号	昭50	一〇〇
25	民具 日本人の生活の知恵と意匠()	()	昭49	一〇〇
24	離婚	第81号	昭49	一〇〇
23	殉教	第73号	昭47	一〇〇
22	エロス	第63号	昭48	一〇〇
21	マックス・ウェーバー()	()	昭47	一〇〇
20	結婚とは何か()	第53号	昭46	一〇〇
19	愛国心()	第42号	昭45	一〇〇
18	フラストレーション()	第41号	昭45	一〇〇
17	精神分析	第40号	昭44	一〇〇
16	日本思想の構造()	第39号	昭44	一〇〇
15	人間疎外()	第33号	昭43	一〇〇
14	異常心理()	第30号	昭43	一〇〇
13	森 鷗外()	第29号	昭43	一〇〇
12	夏目漱石()	第26号	昭42	一〇〇
11	芥川龍之介()	第24号	昭42	一〇〇
10	犯罪()	第20号	昭41	一〇〇
9	自殺(現代のエスプリ) 第16号至文堂	第16号至文堂	昭40	一〇〇
8	ユーラシア 季刊7 新時代社	季刊7	昭47	一〇〇
7	ユーラシア 季刊5 新時代社	季刊5	昭47	一〇〇
6	ユーラシア 季刊7 新時代社	季刊7	昭47	一〇〇
5	古代東アジアと日本()	25号秋	昭55	六〇〇
4	古代東アジアと日本()	25号秋	昭55	六〇〇
3	古代の呪術と祭祀()	11号早春	昭52	六〇〇
2	中国と古代日本()	9号 夏	昭51	六〇〇
1	日本の古代王権(東アジアの古代文化)	9号 夏	昭51	六〇〇
32	方法とはなにか()	No. 467	昭38	六〇〇
33	現代社会と農業問題()	No. 497	昭40	一〇〇
34	現代社会と情報()	No. 551	昭45	五〇〇
35	ヘーゲル()	No. 555	昭45	二五〇
36	現代社会学の展開()	No. 587	昭48	五〇〇
37	神話の構造(ユリイカ) 2巻―12号	2巻―12号	昭45	一〇〇
38	総展望現代詩の地平()	2巻―13号	昭45	六〇〇
39	モーツァルト()	3巻―1号	昭46	一〇〇
40	富永太郎()	3巻―3号	昭46	一〇〇
41	ランボオ()	3巻―5号	昭46	一〇〇
42	60年代の詩と詩人()	3巻―6号	昭46	六〇〇
43	革命の詩・詩の革命()	3巻―8号	昭46	一〇〇
44	ウラジミール・ナボコフ()	3巻―9号	昭46	一〇〇
45	ことばは自然をどうとらえるか 3巻―12号	3巻―12号	昭46	一〇〇
46	エロティシズム()	3巻―13号	昭46	一〇〇
47	ワグナー()	4巻―1号	昭47	一〇〇
48	カミュ地中海の神話()	4巻―2号	昭47	一〇〇
49	詩の成立をめぐる 第一行をどう書くか()	4巻―3号	昭47	九〇〇
50	高村光太郎()	4巻―8号	昭47	一〇〇
51	植草甚一氏の奇妙な情熱()	10巻―13号	昭53	一〇〇
52	思想史の柳田国男(伝統と現代) 第34号	第34号	昭48	一〇〇
53	資料館紀要 第7号 京都府立総合資料館	第7号	昭54	二〇〇
54	科学と博物誌(知の考古学) 11巻 分類と関係をめぐる	11巻	昭52	一〇〇
55	両大戦間とオーストリア・マルクス主義 (季刊社会思想) 3巻―2号	3巻―2号	昭48	一〇〇
56	浦和市立郷土博物館調査報告書 第一・二・四集	第一・二・四集	昭49	一〇〇
57	浄土の諸問題2・3 (大谷大学真宗学総合研究班)	2・3	昭49	一〇〇
58	古事記年報 古事記の訓法について他	古事記の訓法について他	昭34	五〇〇
59	土佐の博物 博物学会報第5・7号	第5・7号	昭12・14	一〇〇
60	経済学論究 創立六十五周年記念号	創立六十五周年記念号	昭29	一〇〇
61	教学叢書 第一輯 文部省教学局編集	第一輯	昭16	二五〇
62	春の潜庵の教学 安岡正篤 他	安岡正篤 他	昭11	一〇〇
63	科学ベン 創刊号・第3号	創刊号・第3号	昭39	五〇〇
64	現代の理論 創刊号 河出書房新社	創刊号	昭35	一〇〇
65	宗教改良論 横田国臣 附観察哲学の創設及刑法刑事訴訟法の改正	横田国臣	昭16	一〇〇
66	宗教団體法に依る寺院教会宗教結社必携 京都府社寺課編	京都府社寺課編	昭8	一〇〇
67	市町村事務改善参考資料 岐阜県地方改良協会	岐阜県地方改良協会	昭12	一〇〇
68	東京・神戸・大阪商科大学教授文献目録	東京・神戸・大阪商科大学教授文献目録	昭28	一〇〇
69	京都府山林会報第25・26・27	京都府山林会報第25・26・27	昭12	一〇〇
70	道徳科学(モラロジー)及び最高道徳の概要 廣池千英講述	廣池千英講述	昭53	一〇〇
71	アルチュール・ランボオ(カイエ) 1巻―3号	1巻―3号	昭31	五〇〇
72	高村光太郎読本(文芸) 13巻―10号	13巻―10号	昭49	五〇〇
73	日記 田村隆一他(現代詩手帖) 17巻―6	17巻―6	昭49	五〇〇
74	ルイス・キャロル() 別冊 No. 2	別冊 No. 2	昭52	一〇〇
75	都市(制度)を読み解く()	20巻―5	昭52	一〇〇
76	いま(詩)とはなにか()	20巻―12	昭52	五〇〇
77	テレビをどう見るか()	21巻―3	昭53	五〇〇
78	ブランショ()	21巻―11号	昭53	一〇〇
79	(悪漢)グラフィティ()	22巻―2	昭57	一〇〇
80	詩はこれだ()	25巻―11号	昭43	一〇〇
81	女性と文学(国文学解釈と鑑賞)	国文学解釈と鑑賞	昭16	一〇〇
82	明治事物起源事典()	明治事物起源事典	昭43	一〇〇
83	文章表現ハンドブック()	文章表現ハンドブック	昭43	一〇〇
84	日本神話の世界()	日本神話の世界	昭47	一〇〇
85	戦後詩・その構造と位相()	戦後詩・その構造と位相	昭48	一〇〇
86	戦後作家の履歴()	戦後作家の履歴	昭48	一〇〇
87	聖と俗・坂口安吾()	聖と俗・坂口安吾	昭48	一〇〇
88	戦争文学の展開()	戦争文学の展開	昭48	一〇〇
89	吉本隆明と江藤淳()	吉本隆明と江藤淳	昭48	一〇〇
90	大宰治の世界()	大宰治の世界	昭48	一〇〇
91	歴史・時代小説の現在()	歴史・時代小説の現在	昭54	五〇〇
92	戯作三百年()	戯作三百年	昭54	五〇〇
93	近代文学出発の意味()	近代文学出発の意味	昭55	五〇〇

〒604 中京区丸太町通千本西入南側

八木書店古書部

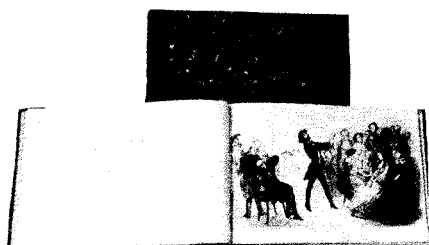
電話(〇七五) 八一—一三八九〇

33	経済学大綱	上下2冊河上肇	昭21	二,〇〇〇
32	バルザック	アラン小西訳	昭22	二,〇〇〇
31	インフレーションの解剖	高田保馬	昭22	二,〇〇〇
30	読書法	戸坂潤	昭21	二,〇〇〇
29	戦中戦後	安倍能成	昭21	二,〇〇〇
28	学問のすすめ	福沢諭吉 富田正文解説	昭16	二,〇〇〇
27	布袋とヴェキナス	長興善郎	昭22	二,〇〇〇
26	経済学の将来	東京経済学研究所	昭21	二,〇〇〇
25	産業革命史	上田貞次郎 経済学全集	昭5	二,〇〇〇
24	平和への努力	近衛文麿手記 田中編	昭21	二,〇〇〇
23	新しき芸術オガファン	ジヤヌレ共著 吉川訳	昭21	二,〇〇〇
22	経済の民主化	本位田祥男	昭21	二,〇〇〇
21	自由論 J.S.ミル	柳田泉訳初版	昭21	二,〇〇〇
20	富士山頂	橋本英吉	昭23	二,〇〇〇
19	自然と人間	橋田邦彦	昭17	二,〇〇〇
18	書物と世間	桑木巖蔵	昭21	二,〇〇〇
17	論理と現実	船山信一	昭16	二,〇〇〇
16	ジンメルの経済哲学	恒藤恭 再出版	昭22	二,〇〇〇
15	生きてゐる兵隊	石川達三	昭20	二,〇〇〇
14	自由主義の歴史と理論	河合栄治郎	昭23	二,〇〇〇
13	一夢想家の告白	長興善郎	昭15	二,〇〇〇
12	統計学概論	岩波全書	昭21	二,〇〇〇
11	政治自由及び運命に関する考察	高坂正顯	昭22	二,〇〇〇
10	経済思想史隨筆	高橋誠一郎	昭18	二,〇〇〇
9	竹沢先生と云ふ人	長興善郎改版初版	昭21	二,〇〇〇
8	恋愛美学	亀井勝一郎初版	昭23	二,〇〇〇
7	その夜	長興善郎初版	昭18	二,〇〇〇
6	民族論	高田保馬	昭23	二,〇〇〇
5	日本商業史講話	宮本又次初版	昭23	二,〇〇〇
4	増訂法と政治	田畑忍	昭16	二,〇〇〇
3	理論経済学概要	舞出長五郎	昭18	二,〇〇〇
2	農地をめぐる地主と農民	東畑精一初版	昭22	二,〇〇〇
1	日本社会経済史研究	本庄栄治郎初版	昭23	二,〇〇〇
34	文春漫画読本	昭31 一冊 昭33 2冊 昭35 3冊 計6冊	昭15	二,〇〇〇
35	論理学	速水澧	昭15	二,〇〇〇
36	軍参謀長手記	比島敗戦の真相 友近美晴	昭21	二,〇〇〇
37	同志社経専論叢	中西良一教授記念号	昭23	二,〇〇〇
38	歴史学批判	羽仁五郎	昭23	二,〇〇〇
39	第二次大戦と世界経済	東京銀行調査部訳	昭22	二,〇〇〇
40	ミル経済学原理	5冊 戸田正雄一冊 異版	昭16	二,〇〇〇
41	日本経済文化史	堀江保蔵	昭17	二,〇〇〇
42	世界新通貨制度の研究	大内兵衛	昭22	二,〇〇〇
43	マルクス経済学批判外	世界大思想全集内	昭3	二,〇〇〇
44	学生生活	河合栄治郎	昭11	二,〇〇〇
45	太思想エッセイ	クロベチア社会辞典神田豊穂	昭3	二,〇〇〇
46	神について	リルケ 大山定一訳	初版	昭21
47	常識の名に於いて	清水幾太郎	昭21	二,〇〇〇
48	近代日本文学の展望	片岡良一	昭21	二,〇〇〇
49	日本経済再建の諸問題	坂入長太郎	昭21	二,〇〇〇
50	産業心理学	高垣寅次郎	初版	昭18
51	経済原論	高田保馬	昭10	二,〇〇〇
52	インフレーションと平価切下	宮田喜代蔵	昭22	二,〇〇〇
53	アメリカ経済の発展	監野谷九十九	昭21	二,〇〇〇
54	ガタルカナル日記	Rトルガス著 福沢訳	昭21	二,〇〇〇
55	戦争と日本経済	シャリーフ著 和田勇訳	昭21	二,〇〇〇
56	日本インフレーションの研究	大内兵衛外共著	昭21	二,〇〇〇
57	インフレーション経済学	トウロー二著 大内抄述	昭22	二,〇〇〇
58	日ざめ	モオバリサン 青柳瑞穂訳	初版	昭21
59	文春天皇白書	赤紙一枚 連合軍戦記二代	昭21	二,〇〇〇
60	文春昭和メモ	2冊 計四冊	昭29	二,〇〇〇
61	歴史学批判	児童の歴史観とその表現 羽仁五郎	昭21	二,〇〇〇
62	ミル経済学試論集	昭11古事記	昭18	二,〇〇〇
63	京都府医師会50年史	京都医家とその境墓	昭18	二,〇〇〇
64	天満宮尊影	一幅 乗牛松鶴之図	道筆	三,〇〇〇
65	清人筆香筆	二行草書 書法論一幅	道光14	五,〇〇〇
66	9人鬼陣	筆あまた諸国のお客の人に御園の花が	一幅	二,〇〇〇
67	関山筆	桜花嵐山之図	一幅	二,〇〇〇
71	井上円了筆	八坂神社四字一行	一幅	三,〇〇〇
72	大國主命(大黒様)	肉筆彩色	一幅	汚傷
73	天台道士筆	二行詩	一紙	三,〇〇〇
74	福田美楯讚	公遵筆	鐘尅之図	一幅
75	中国寒山寺拾得之図	拓本	一幅	小傷
76	王置嵐山筆	猛虎之図	一幅	五,〇〇〇
77	清国画人筆	香遠益清画贊	一幅	二,〇〇〇
78	清須古城残瓦	拓本	一幅	八,〇〇〇
79	寺井南澹筆	鐘尅之図	一幅	折傷
80	はつ女	女文ちらし書き	虫入	一幅
81	唐画研榘筆	山水	一幅	折傷
82	基平筆	宝来山之図	一幅	三,〇〇〇
83	中国呉并倪氏	詩絶句はり付	一幅	三,〇〇〇
84	獅子門道流	虚白筆 勅題日之出詩	一幅	三,〇〇〇
85	勅賜上人	浄山比丘智海上人筆	6字名号	一紙
86	天山外史筆	藤田東湖正気歌	一幅	三,〇〇〇
87	覚巖筆	福謙2字	一幅	小虫入
88	虚室和尚筆	禪語一行	一幅	古筆
89	陳紀雲筆	(中国入) 一行	一幅	表具傷
90	竹中時奇	(淡香) 筆	一行	一幅
91	僧南谷筆	書状一紙	小堀石磨宛	一紙
92	内侍所臨時御神楽	和之宮様祐宮様	への分控	一紙
93	四季合香之図	一紙	小品石版	明治初
94	芭蕉翁読書之図	一紙	小品石版	明治中
95	妙心寺	193也耕徳智訓和尚筆	両宮玉燈供傷	紙
96	駿州富士郡久沢村	福泉寺尊我五郎十郎尊像	御札	一紙
97	千家尊福筆	書翰一通	井上伯爵宛	一紙
98	中国民画	王亜神像	墨摺	一紙
99	下京33番組遊所	数会所し達	紙代巻摺で取引	明5
100	寝物語	不破閑東返しの由来	墨摺	一紙
101	鍋井克之筆	平和万歳	日本地図版神カ	カット図案
102	大阪新聞	錦面13号	信木板面	赤見抱く鉄五郎
103	堤寒二筆	週刊朝日野球漫画	草稿	一紙
104	京都療病院	入院料領収書	紙	明14
105	魯恭和尚筆	真福寺和尚書	書状	一紙
106	銅版肖像	松田松十	テニス プレーケ	LAPLACE各枚
107	元文部大臣松田源治筆	中国函閣印事之詩	小品	一紙
108	虚連拜書	6字名号	一紙	小品

〒612 京都市伏見区深草稲荷鳥居前町22

山崎書店

電話(〇七五)六四一―四七七
郵便振替 京都 一八三六

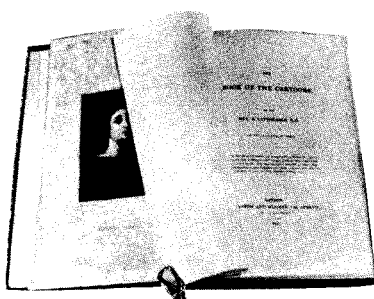


2 **ZIJN ER ZOO?**
ALEXANDER V,H(1822-1897) LEIDEN EN
AMSTERDAM
風刺漫画2冊石版画約100葉入 ¥80,000

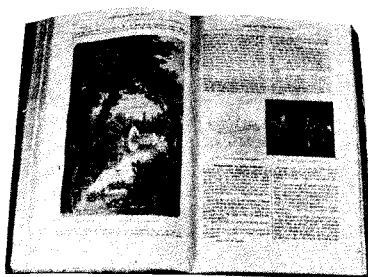


1 **ラスキン近代画家論** 全5冊 1880刊
風景画を中心に銅版画多数入 特製豪華本
JOHN RUSKIN MODERN PAINTERS
5VOLS GEORGE AUEN. SUNNYSIDE,
ORPINGTON,KENT.1888 ¥130,000

5 17世紀オランダ派の画家
DIE NEDERLANDISCHEN MALER DES
17 JAHRHUNDERTS
MAX J.FRIEDLANDER BERLIN 1926
* 8,000
6 THE ART OF DECORATIVE PAINTING
WALTER BAYESS,R,W,S LONDON 1927
* 10,000
7 THE PAINTER'S METHODS & MATERIALS
PROF.APLAURIE LONDON 1926
* 8,000
8 ALBERT DURER HIS LIFE & WORK
T.D.BARLOW LONDON 1922
* 7,000



4 **風刺画の本**
ラッファエロ画のエッチング 8枚入
BOOK OF THE CARTOONS
REV,R,CATTERMOLE,B,D
LONDON 1840 ¥35,000



3 **デッサン理論** 1880刊 図版多数
COURS RATIONNEL DE DESSIN
L,DHENRIET LE DESSIN
DIMITATION PARIS 1880 ¥38,000

石川古本店

京都市左京区一乗寺里ノ前町24―12

電話(〇七五)七一―一五四二九
振替 京都 七―三三〇八九

- 1 ジャングル大帝 手塚治虫 学童社 昭26 6,000
- 2 吸血魔団、背補修 手塚治虫 東光堂初版 昭23 6,000
- 3 罪と罰 初版 手塚治虫 東光堂 昭28 4,000
- 4 奇蹟の森の物語(初版)手塚治虫 東光堂 昭24 4,000
- 5 化石人間の逆襲 手塚治虫 冒険王フロク 昭27 3,000
- 6 大洪水時代 おもしろブックフロク(手塚) 昭30 1,000
- 7 アトムスリーゼット総統(手塚少年フロク) 昭29 1,000
- 8 エンゼルの丘2冊 手塚治虫 虫プロ 昭46 5,000
- 9 レモンキッド 復刻版 手塚治虫 昭54 1,000
- 10 ぐっちゃん 復刻版 手塚治虫 昭55 1,000
- 11 ジュンマンガ 復刻版 手塚治虫 昭40 3,000
- 12 日本アニメーション映画史(サイレント) 渡辺泰 昭52 1,000
- 13 河童青 水木しげる 双葉社 昭45 2,000
- 14 立体テレビ劇場 少年ブックフロク 昭42 2,000
- 15 少女 大正11年3月号 昭41 2,000
- 16 恐怖山脈(イタミ)手塚治虫 おもしろブック付録 昭32 6,000
- 17 ワタリ 7冊揃 白土三平 講談社 昭41 5,000
- 18 創刊号 ヤングマガジン 講談社 昭55 2,000
- 19 創刊号14巻迄 ビッグスピリッツ 小学館 昭56 1,000
- 20 創刊号13号迄 フォアレディ 小学館 昭56 1,000
- 21 創刊号 ひとみ 秋田書店 昭53 2,000
- 22 サンデー千ページ 第2弾 小学館 昭57 1,000
- 23 たのしい四年生 9月号 藤子 昭34 4,000
- 24 たのしい四年生 3月号 藤子 昭35 4,000
- 25 おもしろブック 6月号 昭27 6,000
- 26 おもしろブック 8月号(手塚プロ) 昭27 5,000
- 27 知られざるレオナルド 岩波 昭50 6,000
- 28 舞姫 川端康成 初版朝日新聞 昭26 1,000
- 29 下谷叢話 永井荷風 初版富山房 昭14 1,000
- 30 満洲事変満五年 陸軍省 昭11 1,000
- 31 アメリカの野球と名選手 鈴木惣太郎 昭23 1,000
- 32 禪の真髓 鈴木大拙 昭11 1,000
- 33 特許意匠実用新案出品案内 大雄閣 昭23 2,000

〒603 京都市北区小山下内河原町六三

古書籍 東方書店

電話(〇七五)四九二一〇七一

- 1 農村婦人教本 滋賀県農会 昭10 五,000
- 2 高等国語教本 女子用下篇一、二 検定済 明30 五,000
- 3 小学読本 卷二 文部省 明15 三,000
- 4 新撰博物小学 金石編 田中竹次郎編 明17 三,500
- 5 中等国語 二、三、 文部省 昭23 四,000
- 6 高等小学理科書 一、二年児童用 文部省 昭8 二,000
- 7 小学問答教科書 吉岡益二郎編 明12 五,000
- 8 新撰京都府管内地誌 上羽爲賢 明22 八,000
- 9 改正京都府管内地誌 川井重二郎 明26 八,000
- 10 泰西楽譜入門 全 飯沼 雄 明17 九,000
- 11 高等小学読本 農村用一、二 検定済 少書入 昭3 五,000
- 12 高等小学地理書 卷一、二 検定済 小学校教育に於ける滋賀県坂本尋常高等小学校 昭11 一六,000
- 13 高等小学地理書 卷一、二 検定済 昭9 四,000
- 14 高等小学読本 新制第三学年用上 文部省 明43 二,000
- 15 造形 教師用指導書 全 造形教育研究会 昭27 四,000
- 16 尋常小学地理書 卷二 文部省 昭11 二,000
- 17 初等科習字一 教師用 文部省 昭17 三,000
- 18 日本教育新教科書 心理学 乙竹岩造 検定済 昭13 四,000
- 19 日本教育新教科書 各科指導法 乙竹岩造 検定済 昭13 五,000
- 20 札法要項要義 永田与三郎編 昭16 二,000
- 21 師範公民書 上卷 文部省 昭17 三,000
- 22 くにのあゆみ 文部省 昭26 三,000
- 23 カズノホン一、三 教師用 文部省 昭16 各三,000
- 24 初等科算数一 教師用 文部省 昭17 三,000
- 25 小学算数教授本 卷三上、下 山田正一 明18 八,000
- 26 小学算数教授本 卷五上、下 山田正一 明18 八,000
- 27 小学算数教授本 卷四上 山田正一 明9 三,000
- 28 改正物理階梯 上、中 片山淳吉編 明8 三,000
- 29 画引日本地誌略 一、二(一冊) 速水岩吉編 少々虫 明10 六,000
- 30 日本教育新教科書 教育学 乙竹岩造 検定済 昭16 四,000

- 31 日本教育新教科書 近世教育史 乙竹岩造 検定済 昭12 五,000
- 32 萬国史略便覧 全 西村義民編 阿部泰蔵訳 明10 六,000
- 33 滋賀県管内地理書 図 木版印刷 折帖 文部省 明7 二,000
- 34 日本略史教授解上 村田 小虫 明10 二,000
- 35 博物学新編 大森惟中訳 五冊 明7 四,000
- 36 国語学 関根正 明25 五,000
- 37 小学万国地誌 卷二 小林義則編 明13 三,000
- 38 新撰地理小志 卷一 山田行元編 明12 三,000
- 39 師範国史 上、下 文部省 昭17 六,000
- 40 青年学校家庭科新建設 全国青年学校教員協会 昭16 七,000
- 41 創造教育の理論と実際 千葉吉 大8 二,000
- 42 わかることの教育観 勝部謙造 昭8 九,000
- 43 生活学級の経営 杉山 稷 昭24 五,000
- 44 農林児童の心理 牛島義友 昭22 五,000
- 45 児童画の見方と指導 竹田俊雄他 昭27 四,000
- 46 教育の仕方 守谷英次 昭17 八,000
- 47 小学校最新作法 藤原安次郎 昭2 七,000
- 48 小学校最新作法教育の実際 鷺山重雄 昭10 七,000
- 49 学級経営細案 中学年篇 石崎庸編 昭3 四,000
- 50 師範学校手工教科書 前篇 岡山秀吉他 (奥付破れ) 大 四,000
- 51 教育学原論 吉田熊次 昭3 八,000
- 52 大日本地理精義 上卷 小林房太郎 昭12 一六,000
- 53 最新十大教育思潮と其動向 佐々木秀一他 昭11 二,000
- 54 職業指導 中学校用 日本職業指導協会 検定済 昭22 三,000
- 55 新撰高等小学読本卷四、五 育英社編 明27 五,000
- 56 新撰五十進行曲集 白井規矩郎編 明42 三,000
- 57 コールユニオンゲン 三木佐助編 検定済 昭9 四,000
- 58 生命観に於ける行の教育 森岡亀芳 昭7 六,000
- 59 日本の教育 渡辺昌司 昭11 六,000
- 60 地理新教授法 菊池勝之助 昭3 八,000
- 61 地理新教授法 菊池勝之助 昭3 八,000
- 62 郷土教育の実際 小川正行 昭10 三,000
- 63 新教育指針 第四分冊 新教育の方法 文部省 昭22 五,000

- 64 青少年不良化問題の理解 京都府児童課 一六号 昭16 五,000
- 65 郷土読本 淀 今中仁一編 昭16 三,000
- 66 アメリカ民主主義の諸相 京口元吉他 昭21 四,000
- 67 日本歴史 上、下 文部省 昭22 五,000
- 68 師範歴史 本科用卷二 文部省 昭20 四,000
- 69 教練参考日本精神作興資料 立石源次郎編 昭10 八,000
- 70 氣候と生活 六学年用 文部省 昭23 二,500
- 71 ガイダンス概説 佐伯正一 昭28 五,000
- 72 国民学校理科数科要義 橋本為次他 昭15 四,000
- 73 小学校学習指導書理科篇I 文部省 昭28 四,000
- 74 歴史と自然と人 大類神 初 大10 四,000
- 75 近江名所旧跡案内 大13 二,500
- 76 御嶽風景写真帖 下原留次郎編 大15 二,500
- 77 郷土玩具大成 第一卷東京篇 有坂与太郎 (背タイトル一部不明) 昭10 六,000
- 78 人形玩具 二卷七号 小林和足編 昭13 二,000
- 79 郷土秘玩 一卷二号、五号 松下正影編 昭7 八,000
- 80 支那史物語 景山直治 初 函 昭15 五,000
- 81 中国千一夜 古今奇観風雅の巻 初 魚返善雄 昭15 五,000
- 82 中共見聞記 須磨弥吉郎 初 昭27 三,000
- 83 東洋の旗 飯島 正 初 昭13 三,500
- 84 東西の国民性 林悟堂 魚返善雄訳 初 昭21 三,500
- 85 支那人氣質 カールクロイ・関 浩輔訳 昭16 六,000
- 86 西湖物語 鮑曾範鈴 初 昭12 六,000
- 87 随筆支那 小林橋川 初 昭18 五,000
- 88 北京留学 奥野信太郎 初 昭27 二,000
- 89 両辺倒 内山完造 初 昭28 三,000
- 90 北京歳時記 村上知行 昭17 五,000
- 91 北支案内 布 利秋 昭13 八,000
- 92 老大人の山河 余と朝鮮及支那 渡辺己之次郎 昭10 七,000
- 93 武蔵野日記 中川一政 扉本版 初 限定 昭9 二,000
- 94 町人論吉 太田政孝 昭2 四,000
- 95 市町村会議員論 野田千太郎 昭2 四,000
- 96 自由新開支局 自由新聞京都支局 明27 一八,000
- 97 泉 終刊号 有島武郎記念号 大12 四,000
- 98 女人芸術 創刊号 女人芸術社 昭3 三,000

増訂 寰宇貞石圖

河井荃蘆監修 藤原楚水纂輯

篆書字典

太雨熙永編「六書通」「正字通」「康熙字典」等を典拠に、大家・小家、籀を網羅。 八〇〇〇円

篆楷字典

丘 襄二著／判読が難しい篆を楷書でわかり易く読めるように編んだ篆書解説字典。 五〇〇〇円

上古から漢魏六朝、唐代また日本・朝鮮の著名石刻を加えた四七〇余种・六〇〇余図を集大成。今日では伝説的存在である昭和十四年版に新たに詳細な解説を付し、原本全四冊を合本復刻。書道家研究者必携の大巻!!
豪華愛蔵版 定価六万五千円

渡辺華山 錦心図譜

編纂代表 鈴木栄之亮
本書は昭和十五年東京美術倶楽部で開かれた没後百年大展覽会に出陳された華山の代表作を特写、これを編纂したものである。付冊「華山を語る」(講演集)
B4判・変型函入 上下二巻 揃価八万五千円

酒井抱一画集

付巻・抱一上人真蹟鏡二冊 鶯郵画譜一冊
日本の芸苑に繚乱と咲き誇る淋派晩期の巨匠酒井抱一。これまで門外不出の逸品を集める。斯界の權威田中・松氏の細密な校閲を受ける。
A3判・四方帙入 付巻和綴巻帙入 定価十九万八千円

国書刊行会

* 注文制です。お近くの書店にお申し込み下さい。
〒170 東京都豊島区巢鴨3-5-18 電話03(917)8287

浄土の教言

大谷大学 編
真宗学会

それぞれに浄土の經典に遇い、それぞれに教言を聞くことを得た領きを、表白のおもいをこめて発表した大谷大学真宗学会の諸師の十九の論稿集。

A5判 三四〇頁 三、八〇〇円

莊嚴と回向

安田理深 著

著者が生涯を打込んだ私塾、相應学舎における報恩講の最近五年間の講話。厳密かつ大らかなる安田先生の思索の最晩年の結晶である。

B6判 二四〇頁 二、三〇〇円

文栄堂書店

京都市中京区寺町通三条上る
TEL (075) 231-4712
振替 京都 8-2948

大学堂書店

京都市中京区河原町三条下
TEL. 075 (221) 5063

源氏物語絵詞

片桐洋一・大阪女子大学物語研究会編著
後陽成天皇の宸翰とも伝えられる本書は、「源氏物語絵」制作のためのレパートリーブックと言われ、美術史・国文学研究者の要望により活字鑿刻した。

四、五〇〇円

水野平次著 藤井貞和補注訂正解説 増補 白楽天と日本文学

奥村三雄編著

(文部省刊行助成図書)

平家正節語彙索引 八、八〇〇円

尾崎本平家正節の索引編として本文編、研究編と共に三部作をなすもので、本書により本文編の具体的利用と、研究編の基礎的資料が提示された。

能勢朝次著作集

全10巻

能勢朝次著作集編集委員会編 中世文学、能楽
—その大成者世阿弥について最も基礎的な考え方を
据え、連歌、俳諧、芭蕉に関して先駆的な研究をな
した著者の論考を、全十巻の著作集として刊行。

▲A5判・四〇〇頁・月報四頁・上製本
*各巻定価四、〇〇〇円／六、六〇〇円

龍谷大学善本叢書2

うたひせう 諷諷鈔

全三巻

宗政五十緒責任編集 龍谷大学所蔵「諷諷鈔」(謡曲の最も古い注
釈書「うたひせう」の成立間もない慶長三、四年の書写。最古の版本
より更に潮る。)を影印本として公刊。桃山期の文化を窺い、当時の
言語現象を把握する為には不可欠の資料。解説・曲名索引付。

A5判 (揃)
定価 34,000円

中国戯曲善本三種

北西廂記・斷髮記・竊符記

監修 神田喜一郎 神田氏後古書屋所蔵の戯曲書
解説 岩城 秀夫 中より元・明刊の善本三種を
影印で完全収録。いずれも挿入りの天下の孤本。
印記は全て朱刷りにし、巻末には「解説」を付す。

*A5判・六〇〇頁・
上製本・貼函入
影印版・解説一活版
定価一三、八〇〇円

広瀬旭荘全集

全十二巻・索引一巻

日記篇(日間瑣事備忘)全九巻(天保四、文久二年)
詩文篇 全一巻 梅墩詩鈔/梅墩詩鈔拾遺(新編)/他
隨筆篇 全一巻 九桂草堂隨筆/塗説/明史小批/他
書簡・伝記資料篇 全一巻 旭荘書翰集(新編)/他
別巻一巻 総索引

多治比部大編
岡村繁編
中野三敏編
中野三敏編
各巻平均
平本函入
活版
520頁・版
520頁・版
各巻平均
14,000円

村田正志著作集

全七巻

増補南北朝史論

A5判 各巻平均四四〇頁
各巻平均九、〇〇〇円

岡田章雄著作集

全六巻

I キリシタン信仰と習俗

四六判
各巻平均
二九〇〇円

2 統南北朝史論
3 統南北朝史論
4 證註補葉記
5 国文学論説
6 古文書研究
7 風塵録
①キリシタン風俗
と南蛮文化の日欧
交渉と南蛮貿易の
外から見た日本
三浦按針(南蛮隨
想・年譜

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
佛	連	連	能	能	近	中	中	国	国
諸	歌	歌	樂	樂	世	世	世	文	文
研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究	研究
(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
(既	(既	(既	(既	(既	(既	(既	(既	(既	(既
刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊
行)	行)	行)	行)	行)	行)	行)	行)	行)	行)

本社 京都市左京区田中開田町2-7
〒606 (075) 751-1781

思文閣出版

支社 東京都千代田区三崎町2-20
〒101 (03) 263-6348

文学博士 梅尾祥瑞編

梅尾祥雲全集 別巻I

深く篋底に蔵されて三十年、初めて公開する梅尾博士の遺稿集!!

後期密教経典、タントラの本格的理解に必読の書

〈内容書目〉

- (一) 喇嘛教と日本仏教—特に密教を中軸として—
- (二) 一切秘密最上名義経の研究
- (三) 秘密集会経要略(第十八品答説)
- (四) 聖文殊真実名義経の研究

■B5判・背つき極上製本・函入/三七〇頁一、〇〇〇円

大塚光信 著

キリシタン版 エソポのハブラス私注

天草本伊曾保物語に古活字本を併載し、ローマ字本、国字本の二つが同時に参照できるものとしての定本であり角川文庫本をもととした改訂版であるが、今回はより適切な用例の採用、空白であった語例の補充などに意を用い、「解説には」大幅な加筆を施し、更に古活字本の用語索引を新たに加えるなど、前版とは一新されている。単にエソポのハブラスの注解書としてだけでなく、キリシタン資料の国語学的研究を志す人にとっても、有益な手引書である。

■A5判・口絵二枚・「キリシタン版」本文八八頁・補注五四頁 七、五〇〇円
「古活字本」本文一〇六頁・解説五八頁・索引五九頁



臨川書店

本社 京都市左京区今出川通川端東入50M
東京支店 千代田区飯田橋四一七一六曙ビル
☎075-1211-8531
☎03-2631-4320